

証券コード:5401



**新日鐵住金**

**NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL**

# 2016年度 2Q決算説明会

常務執行役員

宮本 勝弘

2016年11月1日

---

特に断りのない限り、本資料中の財務数値は連結数値

1. 2016年度上期実績・通期見通し
2. 中期経営計画の進捗状況
3. 当社ブラジル事業について
4. 参考データ

# 1. 2016年度 上期実績・通期見通し

# 2016年度上期実績・通期見通しの概況

## 事業環境

- 国内鉄鋼需要は、上期は震災影響や建設向け回復遅れにより対前年で減少したが、下期は自動車分野復調や建設需要増加等、緩やかながら底堅い回復を想定している。
- 海外鉄鋼需要は中国内需に底打ちの兆しが見られ、ASEAN諸国やインドで堅調な増加が続くと想定される。原料炭価格の急騰が今後鋼材の国際市況価格へ反映が進むものと想定している。

## 当社の取り組み

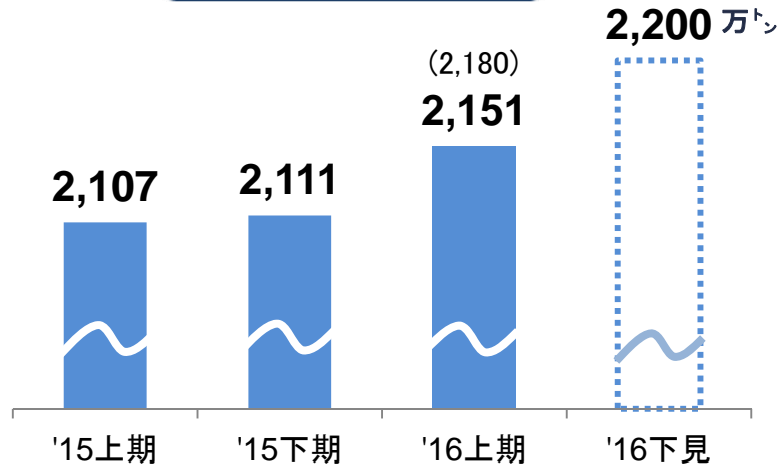
- マザーミル強化 : 鹿島コークス1F炉(新設)と君津第4Aコークス炉 8月立上、君津第4Bコークス炉 '17年1月立上予定
- グローバル事業強化 : SUSとNSGTを統合し、新会社NS-SUS発足(9/1)  
NSBS 3CGL新設を決定(9/15公表)、AGIS 2CGL商業生産開始(10/11公表)  
ブラジル鋼管事業 VSB社(当社40% Vallourec 56%)とVBR社(Vallourec 100%)を統合(10/1)  
ウジナス社 債務再編完了(9/12)
- コスト改善 : 2015⇒16年度 600億円以上
- 原料炭価格の急激な上昇を受け、各品種毎に値上げを打ち出し

## 決算概況

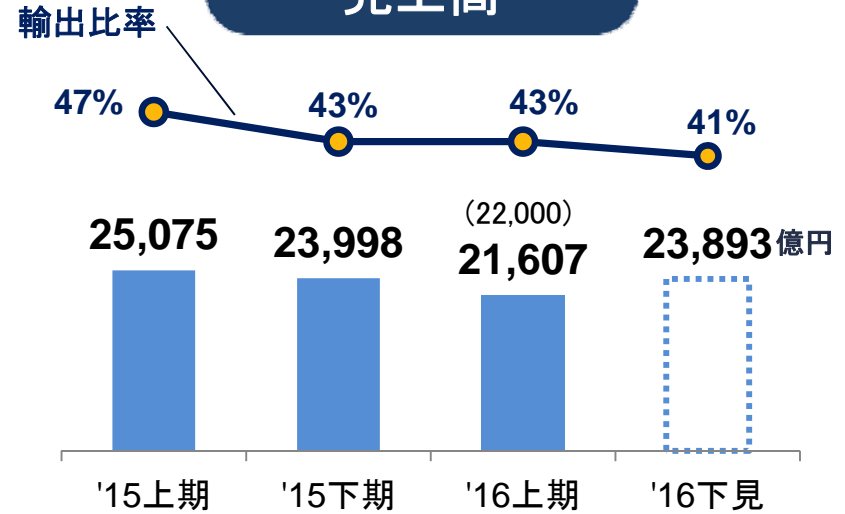
- 16年度上期実績 : 経常利益 280億円、特別損失 ▲91億円、当期利益 110億円 [EPS 12.4円/株]
- 16年度通期見通し : 経常利益 1,300億円、当期利益 600億円 [EPS 68.0円/株]
- 中間配当見送り

# 主要指標推移

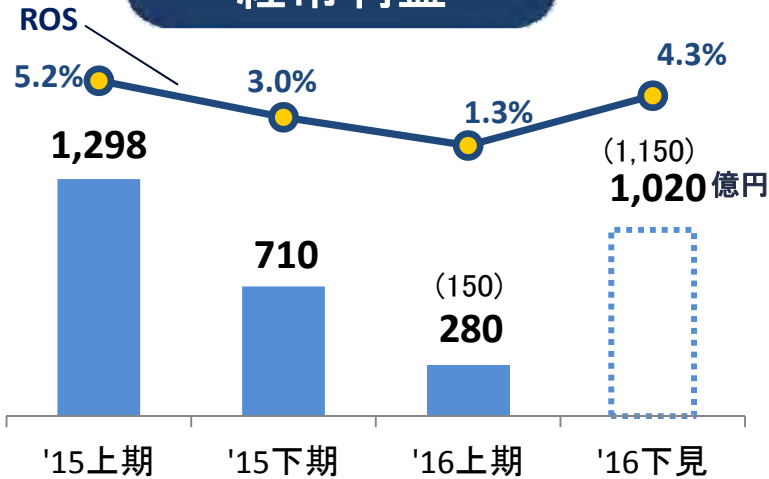
## 粗鋼生産量



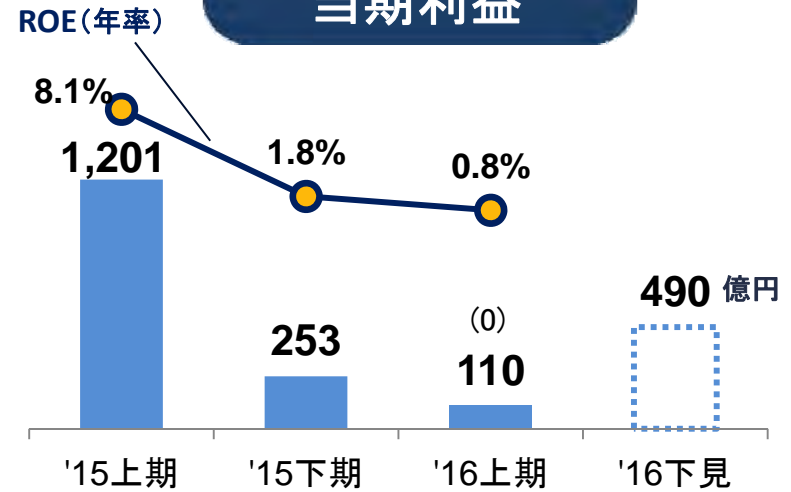
## 売上高



## 経常利益



## 当期利益\*



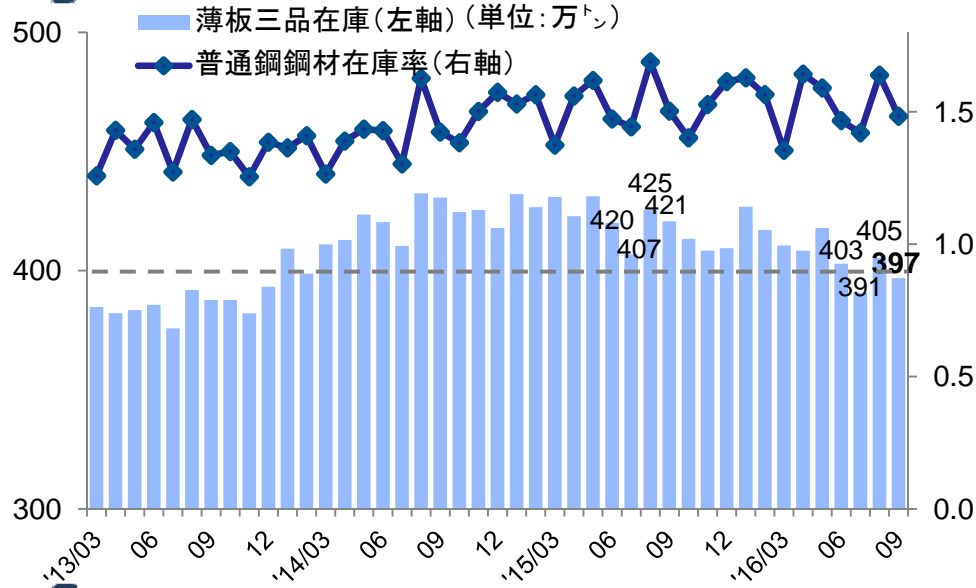
※ ( )は前回(7/28)公表値

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

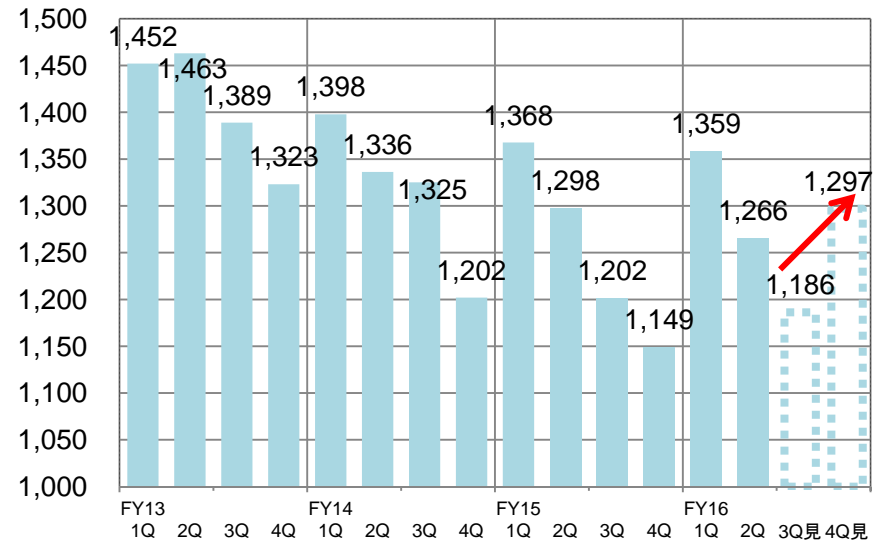


# 国内経営環境

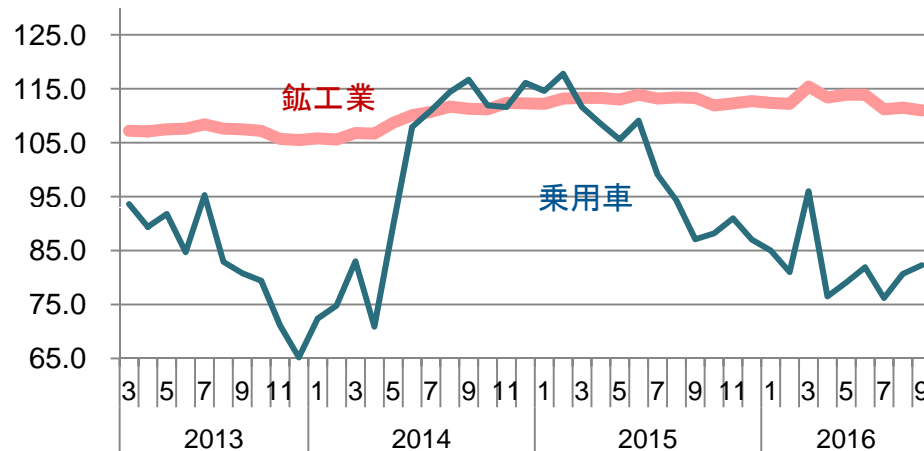
## 薄板三品在庫



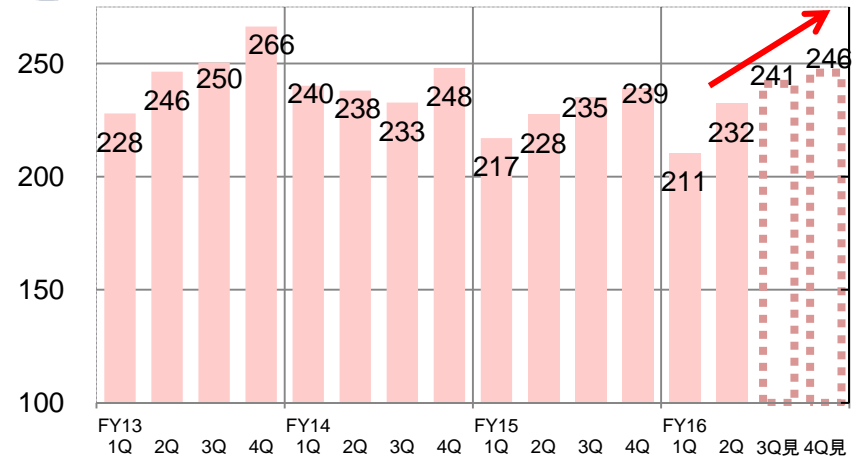
## 非住宅着工床面積(万㎡)



## 国内鋳工業在庫指数 (2010年=100)



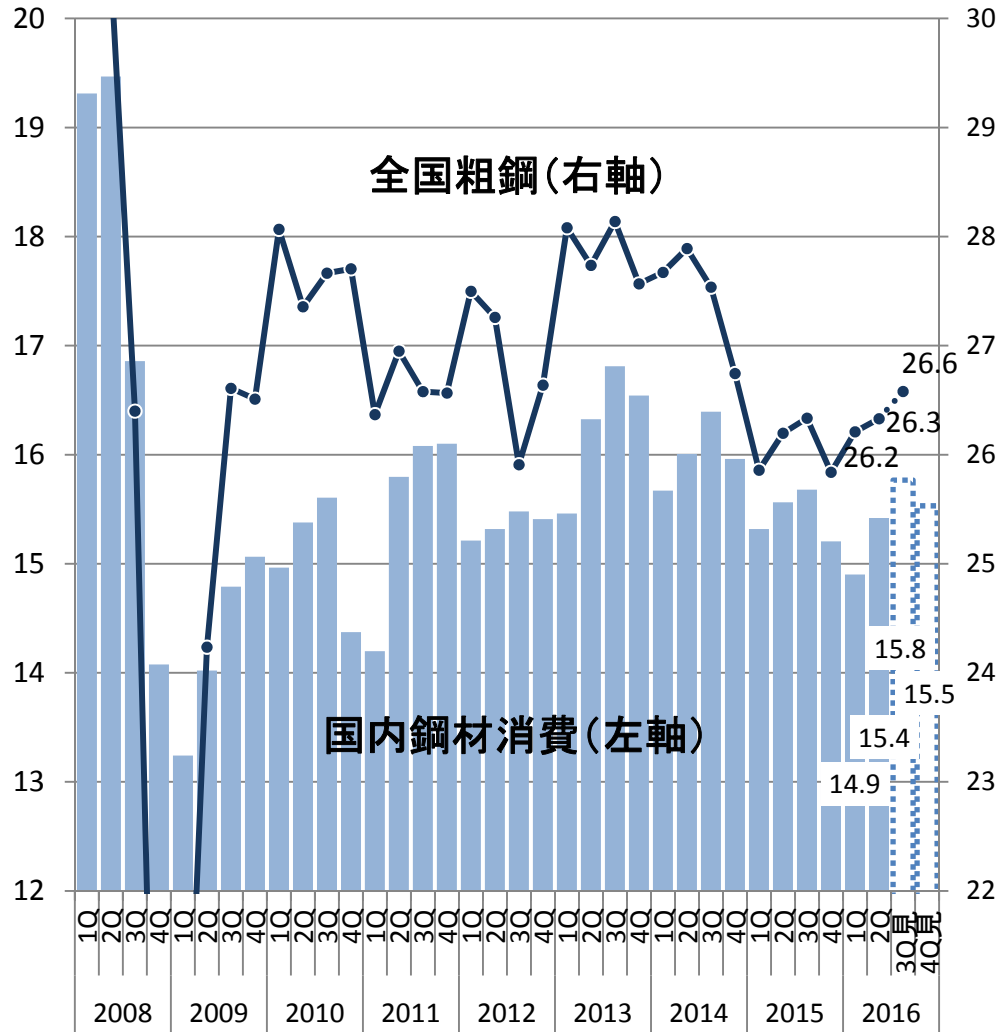
## 国内完成車生産台数(万台)



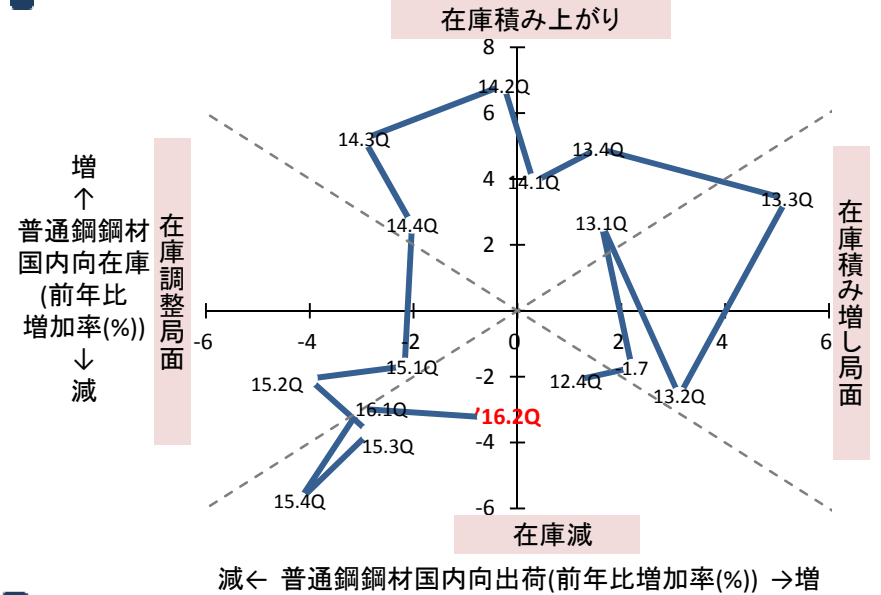
# 国内経営環境

## 国内鋼材消費

百万t/Q

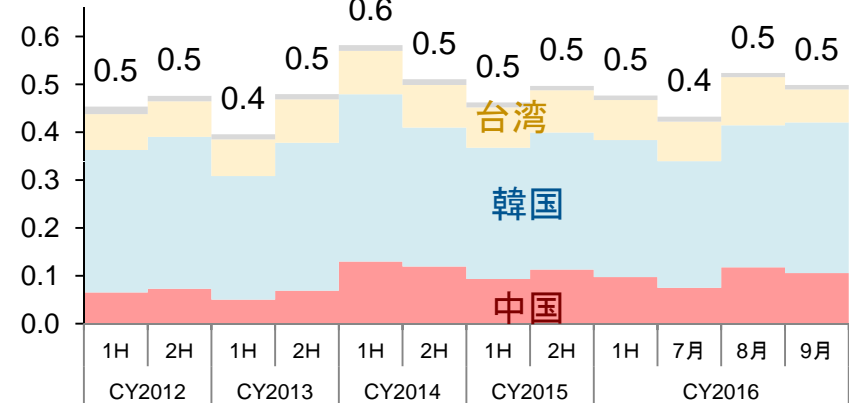


## 国内鋼材在庫循環



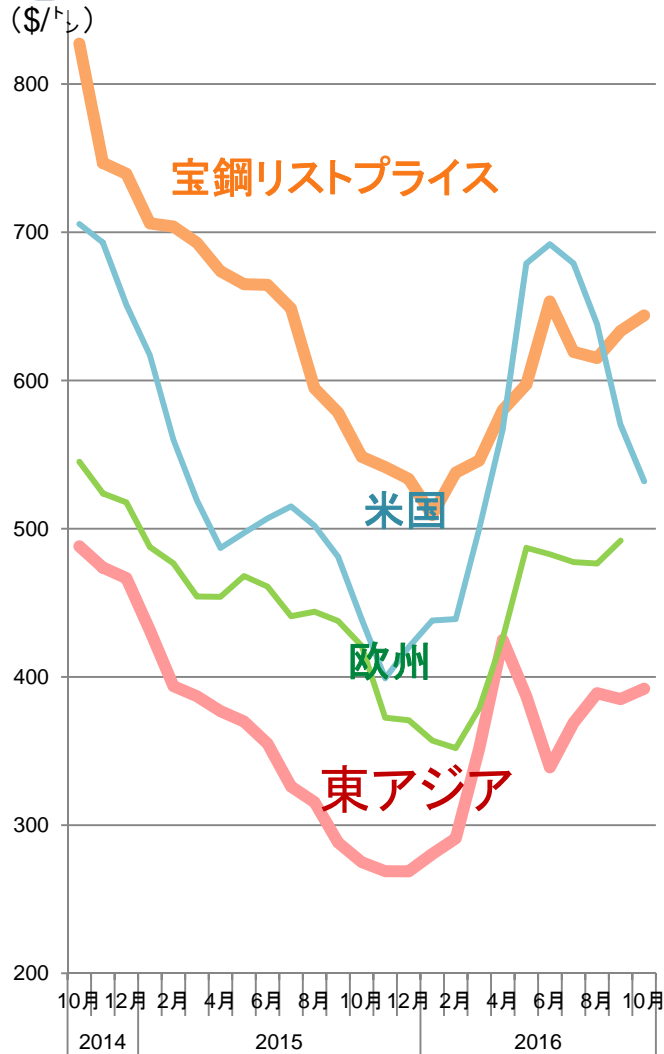
## 日本への輸入材

百万t/月

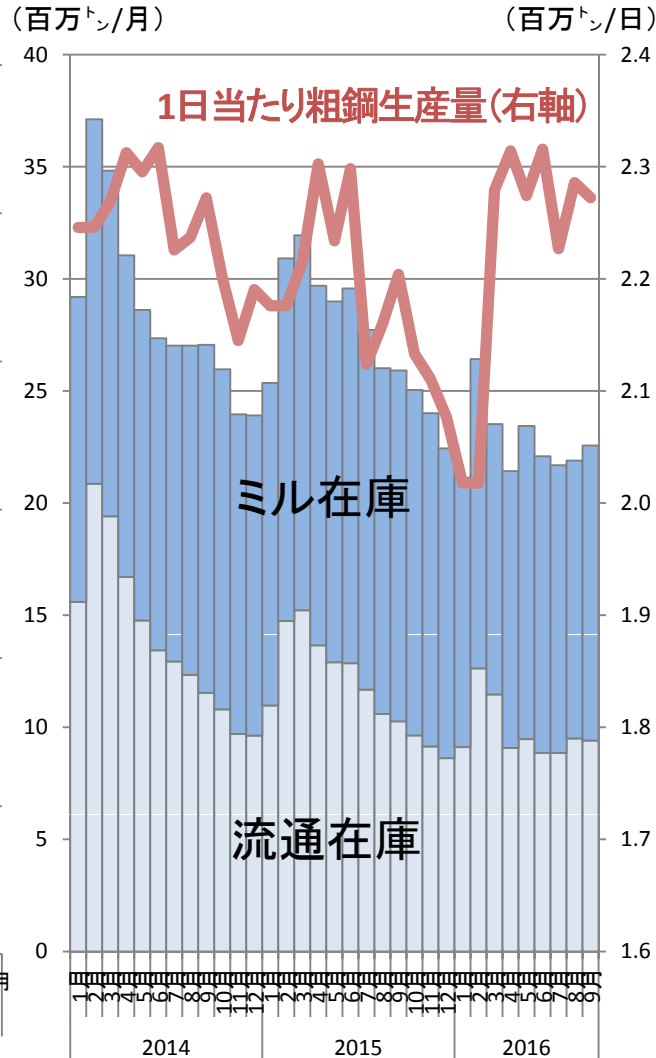


# 海外経営環境

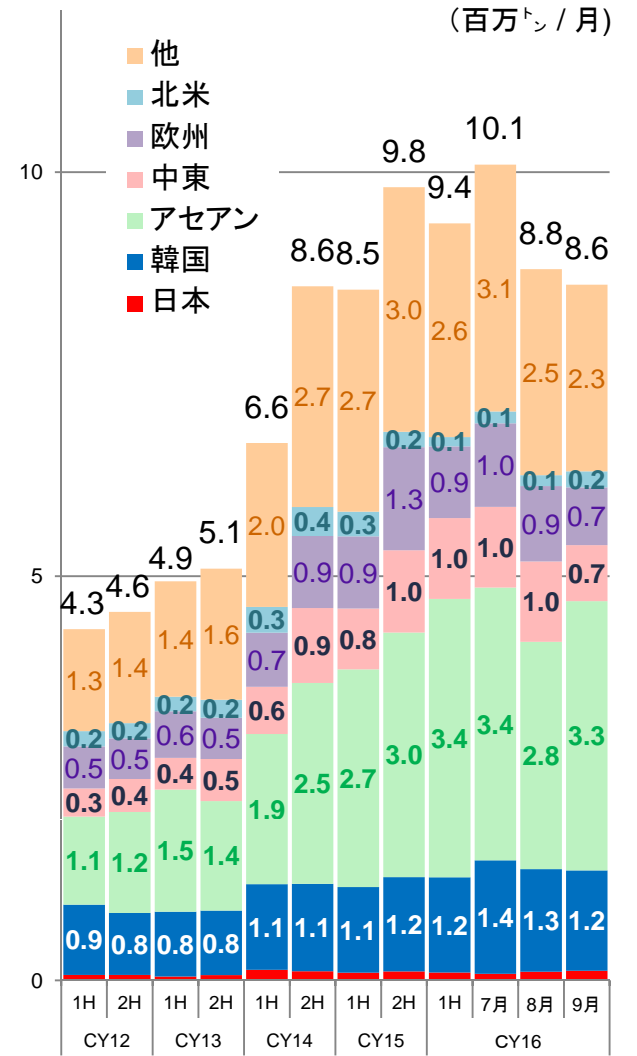
## 各国熱延市況



## 中国粗鋼生産と鋼材在庫



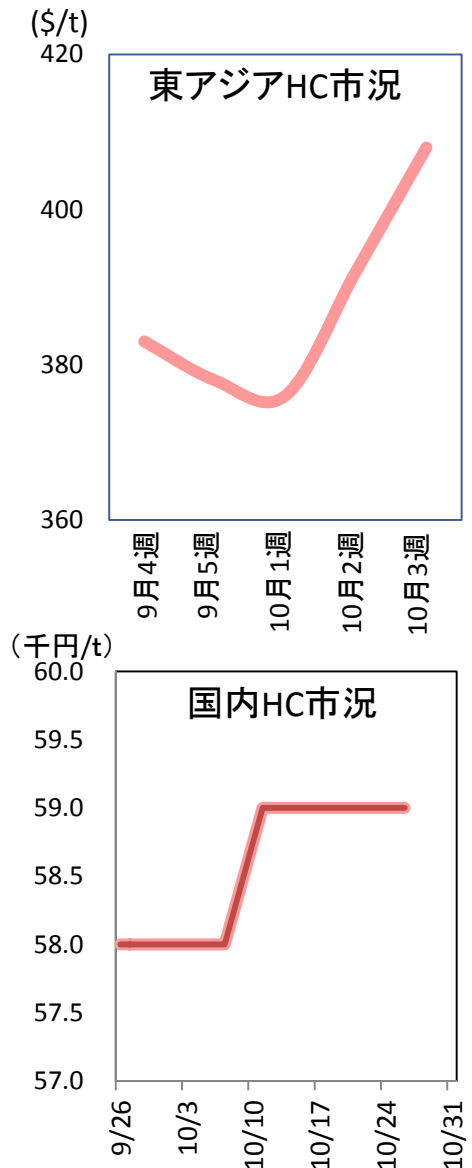
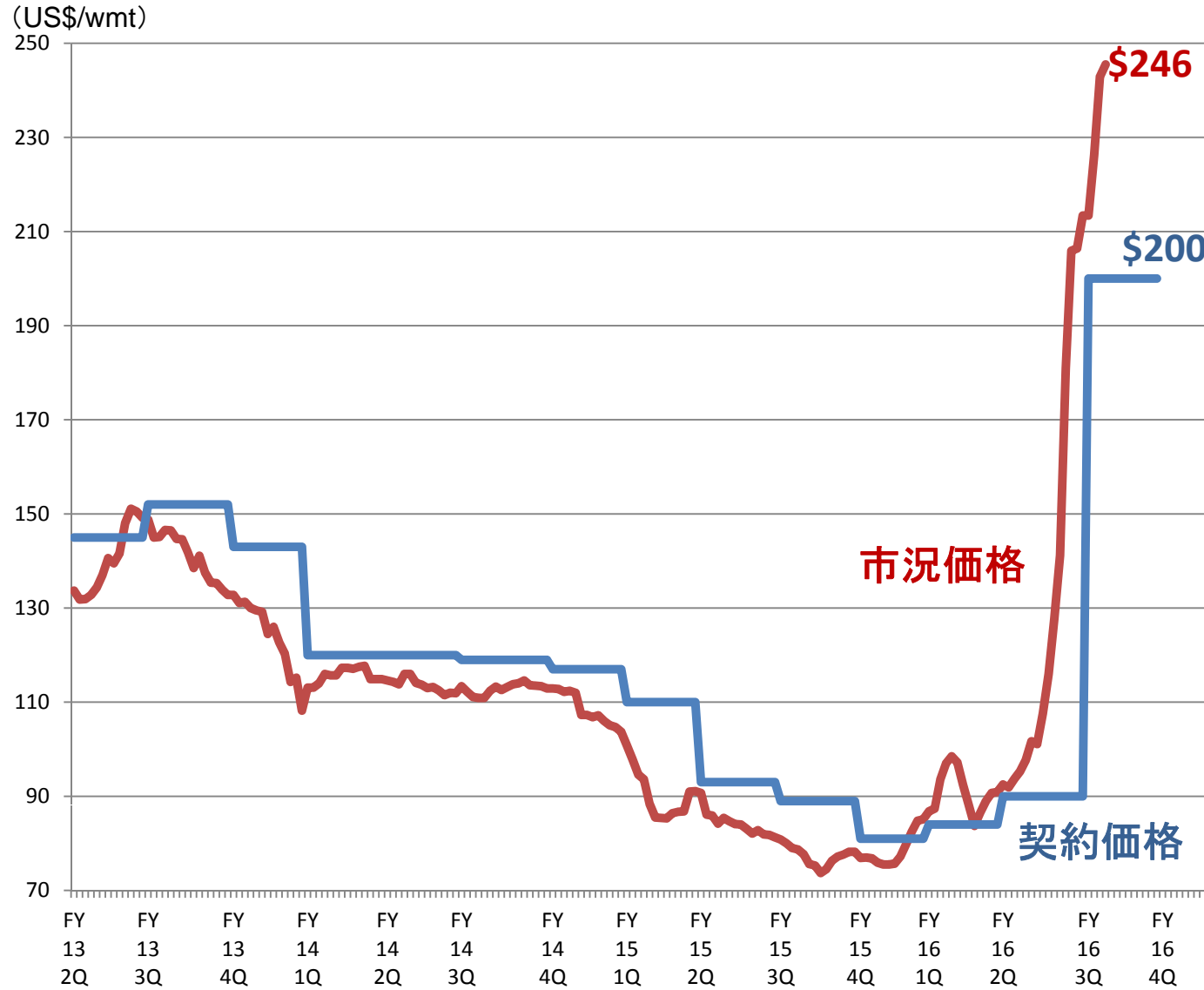
## 中国鋼材輸出向け先



(出所: CISA、MYSTEEL)



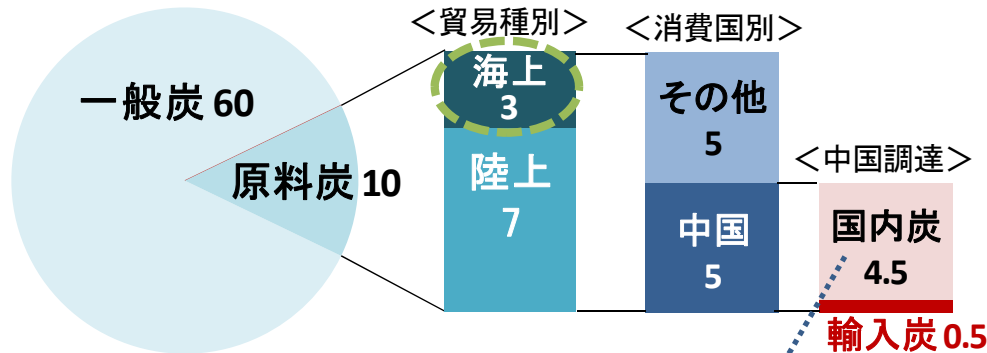
# 強粘結炭 価格推移



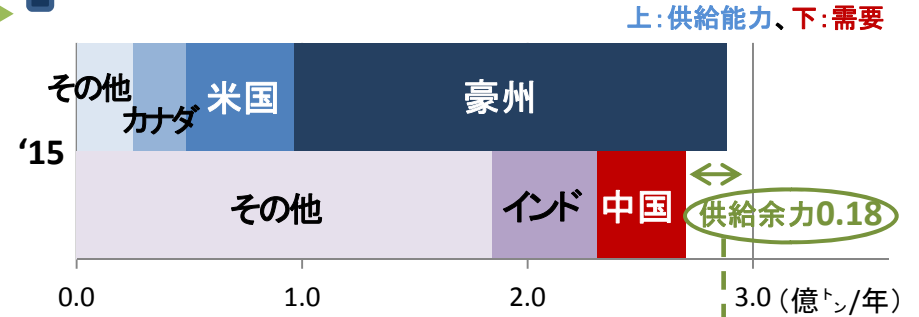
(出所: Bloomberg)

# 原料炭需給バランス

## 石炭消費内訳イメージ (億ト/年)



## 原料炭海上貿易 需給バランス

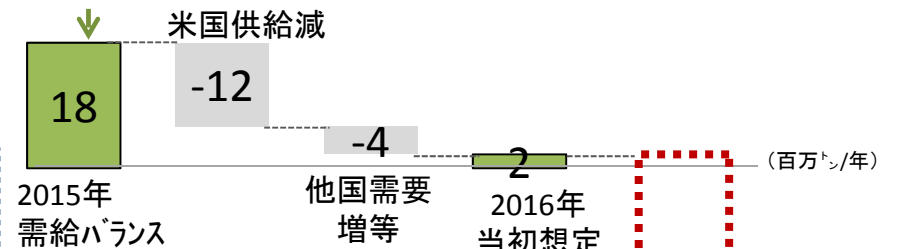


中国の国内炭鉱稼働日数規制:

330日→276日/年 (-54日/年) ≒ 16%の稼働日数減



中国の原料炭国内消費量 約4.5億トの16% ≒ **最大年率約0.7億ト**の原料炭が中国国内で不足となる計算



中国炭鉱稼働日数規制

(最大年率約70百万ト)

中国豪雨、豪州トラブル等 -β

## 下期需給変動要因

- 2016年7-10月一過性影響(中国豪雨、豪州トラブル)戻り
- 2017年1-3月豪州雨季による供給の減少
- 中国原料炭在庫消化完了による海外調達増

# 主要需要分野の活動水準

〔国内〕		FY15					FY16					差異				
		1Q	2Q	上期	下期	年度	*2 1Q	10/31公表 実績 2Q*2	*3 (上期)	*2 上期	*2 下期 見通し	*2 年度 見通し	15/上 → 16/上	16/上見 → 16/上	16/上 → 16/下見	15年 → 16年見
建設	住宅着工戸数 (万戸)	24	24	47	45	92	25	25 23	(46)	48	44	92	+1	+2	-4	+0
	非住宅着工面積 (万㎡)	1,368	1,298	2,666	2,351	5,017	1,359	1,320 1,266	(2,455)	2,624	2,483	5,108	-41	+169	-141	+91
	公共工事受注*1 (10億円)	1,808	2,891	4,699	5,444	10,142	1,904	2,778	(4,567)	4,682	5,233	9,915	-17	+115	+551	-228
自動車	完成車生産台数 (万台)	217	228	445	474	919	211	231 232	(441)	443	487	930	-2	+3	+44	+11
	完成車輸出台数 (万台)	107	116	223	235	458	108	118 123	(231)	231	248	479	+8	+0	+17	+21
	海外生産(8社) (万台)	443	434	877	907	1,784	462	456	/	918	/	/	+41	/	/	/
産業機械	大中型ショベル (千台)	16	16	32	31	63	15	14	(26)	30	29	59	-2	+3	-1	-3
	金属工作機械 (千ト)	119	118	237	214	452	88	96	(216)	184	211	395	-53	-32	+27	-57
造船	新造船起工 (万グロストン)	327	320	647	615	1,262	305	305	(605)	610	583	1,193	-37	+5	-27	-69

リグカウント状況	CY09	CY10	CY11	CY12	CY13	CY14	CY15	CY16	直近	直近ピーク	直近ボトム
米国	1,089	1,546	1,875	1,919	1,761	1,862	977	485	553 ('16/10/21)	2,031 ('08/9/12)	404 ('16/5/20)
深井戸(≥15,000ft)	249	249	395	324	326	354	205	117	122 ('16/9)	413 ('11/11)	98 ('16/5)
北米・露・中を除く世界	997	1,094	1,167	1,234	1,296	1,337	1,167	965	934 ('16/9)	1,382 ('14/7)	927 ('16/6)

(出所:各種統計資料・当社推定) \*1 建設工事受注動態統計の公共工事受注額

\*2 9月上旬見込み値

\*3 前回(7/28)公表値



新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

# 国内主要需要分野の鋼材消費

(単位:万ト)	FY15					FY16						差異			
	1Q	2Q	上期	下期	年度	1Q	2Q	*1 (上見)	*2 上期	*2 下期 見通し	*2 年度 見通し	15/上 → 16/上	16/上見 → 16/上	16/上 → 16/下見	15/年 → 16/年見
全国粗鋼生産量	2,586	2,620	5,205	5,217	10,423	2,621	2,633	(5,256)	5,254			+48	-2		
国内鋼材消費	1,532	1,556	3,088	3,088	6,177	1,490	1,542	(3,005)	3,032	3,130	6,162	-56	+27	+98	-15
製造業比率 (%)	63.2	62.6	62.9	62.9	62.9	62.9	63.0	(63.5)	63.0	62.6	62.8	+0.1	-0.5	-0.4	-0.2
普通鋼鋼材消費	1,220	1,240	2,459	2,458	4,917	1,178	1,221	(2,375)	2,399	2,486	4,884	-61	+24	+87	-33
建設	536	553	1,089	1,087	2,176	525	543	(1,042)	1,067	1,114	2,181	-22	+25	+47	+4
製造業	684	687	1,370	1,370	2,740	653	678	(1,332)	1,331	1,372	2,703	-39	-1	+41	-37
うち、造船	111	109	220	209	429	105	104	(210)	209	198	407	-11	-1	-11	-22
うち、自動車	261	271	532	546	1,078	255	272	(524)	528	561	1,089	-4	+4	+33	+11
うち、産業機械	124	119	243	232	475	112	116	(230)	228	234	462	-15	-2	+6	-13
うち、電気機械	73	73	146	145	291	69	72	(142)	141	143	284	-5	-1	+3	-6
特殊鋼鋼材消費	312	317	629	631	1,260	312	321	(631)	634	644	1,278	+5	+3	+10	+18
鋼材輸入	150	159	309	329	638	150									
鋼材輸出	949	946	1,895	1,867	3,762	979									

(出所:各種統計資料・当社推定)

\*1 前回(7/28)公表値

\*2 9月上旬見込み値


**新日鐵住金**

NIPPON STEEL &amp; SUMITOMO METAL

# 当社製鉄事業 主要指標

(単位:万トン)	FY15					FY16						差異			
	1Q	2Q	上期	下期	年度	1Q	2Q	(上見)	上期	下期 見通し	年度 見通し	15/上 → 16/上	16/上見 → 16/上	16/上 → 16/下見	15/年 → 16/年見
出鉄量*	1,045	1,089	2,135	2,117	4,251	1,049	1,076	(2,170)	2,126	2,190	4,320	-9	-44	+64	+69
粗鋼生産量(連結)	1,089	1,139	2,227	2,226	4,453	1,116	1,153	(2,300)	2,270	2,330	4,600	+43	-31	+60	+147
粗鋼生産量(単独)	1,031	1,076	2,107	2,111	4,217	1,058	1,093	(2,180)	2,151	2,200	4,350	+44	-29	+49	+133
鋼材出荷量	985	979	1,964	1,998	3,962	960	1,009	(2,030)	1,968	2,060	4,030	+4	-62	+92	+68
シームレス出荷量	23	21	44	40	83	24	24	(47)	48	45	93	+4	+1	-3	+10
鋼材平均価格 (千円/トン)	82.8	79.8	81.3	73.1	77.1	68.1	67.9	(67)	68.0	74	71	-13.3	+1.0	+6	-6
鋼材輸出比率(% [金額ベース])	48	46	47	43	45	43	43	(43)	43	41	42	-4	0	-2	-3
為替レート(¥/\$)	121	122	122	120	121	111	103	(105)	107	100	103	15円高	2円安	7円高	18円高

\* 北海製鉄・日鉄住金鋼鉄和歌山含み

# 2016年度上期実績・年度見通し

(単位:億円)	FY15					FY16						差異			
	1Q	2Q	上期	下期	年度	1Q	2Q	(上見)	上期	下期 見通し	年度 見通し	15/上 → 16/上	16/上見 → 16/上	16/上 → 16/下見	15/年 → 16/年見
売上高	12,649	12,426	25,075	23,998	49,074	10,511	11,096	(22,000)	21,607	23,893	45,500	-3,468	-393	+2,286	-3,574
営業損益	523	459	983	693	1,677	-73	252	/	178	/	/	-805	/	/	/
経常損益	844	454	1,298	710	2,009	-120	400	(150)	280	1,020	1,300	-1,018	+130	+740	-709
特別損益	192	282	475	-177	298	-62	-29	/	-91	/	/	-566	/	/	/
当期損益 <sup>*1</sup>	727	473	1,201	253	1,454	-146	256	(0)	110	490	600	-1,091	+110	+380	-854
[1株当たり 当期損益] <sup>*2</sup>	[79.7]	[51.7]	[131.2]	[27.6]	[158.7]	[-16.4]	[29.1]	[0.0]	[12.4]	[55.6]	[68.0]	[-118.8]	[12.4]	[43.2]	[-90.7]
EBITDA	1,257	1,245	2,502	2,257	4,759	641	990	/	1,630	/	/	-872	/	/	/
EBITDA / Sales	9.9%	10.0%	10.0%	9.4%	9.7%	6.1%	8.9%	/	7.5%	/	/	-2.5%	/	/	/
ROS	6.7%	3.7%	5.2%	3.0%	4.1%	-1.1%	3.6%	(0.7%)	1.3%	4.3%	2.9%	-3.9%	0.6%	3.0%	-1.2%
ROE	9.8%	6.4%	8.1%	1.8%	5.1%	-2.2%	3.9%	/	0.8%	/	/	-7.3%	/	/	/

\*1 親会社株主に帰属する当期純利益

\*2 2015年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、2015年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定



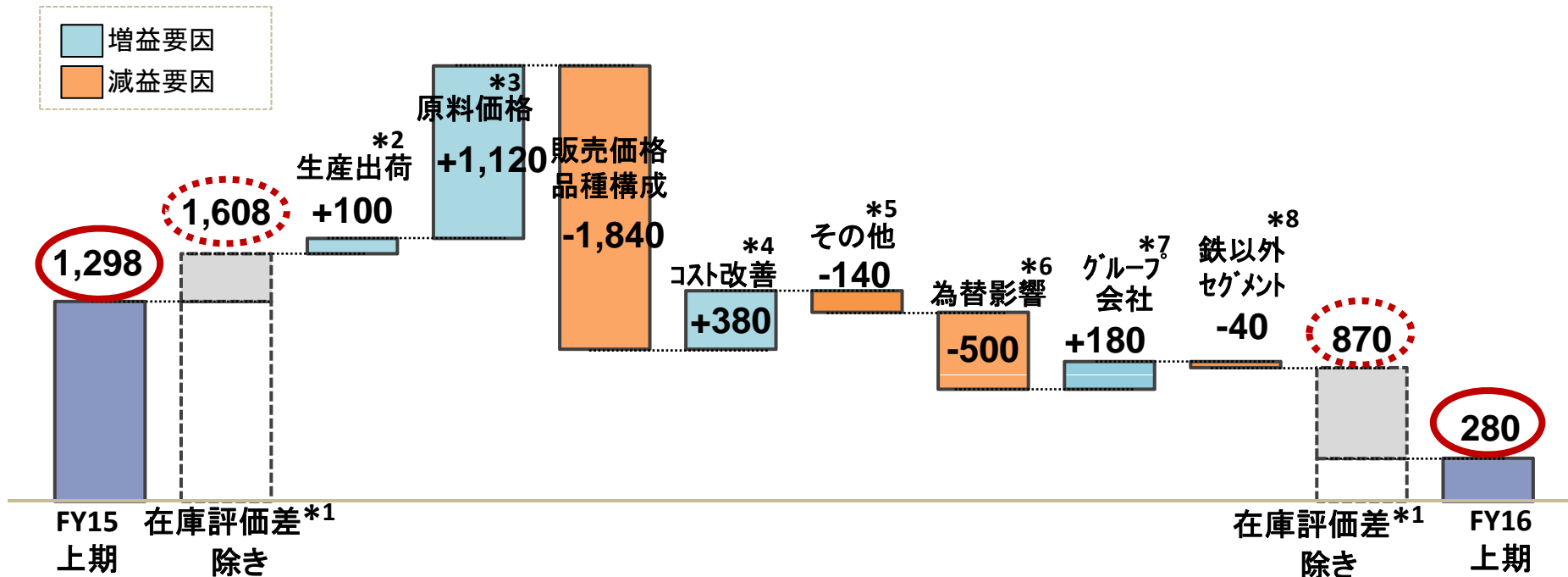
# 2016年度上期 特別損益

(単位:億円)	FY15			FY16		
	上期	下期		1Q	2Q	上期
関係会社株式売却益	334	-8	326	—	—	—
受取和解金	300	—	300	—	—	—
減損損失	—	-137	-137	—	—	—
設備休止関連損失	-158	-32	-190	—	-27	-27
事業再編損	—	—	—	-62	-2	-64
<b>特別損益</b>	<b>475</b>	<b>-177</b>	<b>298</b>	<b>-62</b>	<b>-29</b>	<b>-91</b>

# 経常損益分析 (FY15/上期→FY16/上期)

(単位:億円)	FY15/上期 [A]	FY16/上期 [B]	増減 [A→B]
<b>経常利益</b>	<b>1,298</b>	<b>280</b>	<b>-1,018</b>
製鉄	1,107	140	-967
鉄以外セグメント	170	134	-36
調整額	20	4	-16

- \*1 在庫評価差 -280 (-310 → -590)
- \*2 粗鋼+44万トン (2,107→2,151)  
出荷+4万トン (1,964→1,968)
- \*3 キャリーオーバー影響含む
- \*4 統合効果含む
- \*5 退職給付、熊本地震影響等
- \*6 ストック:-320 (+120→ -200)    為替:-180
- \*7 ウジミナス、NSSC等
- \*8 エンジニアリング-6、化学-23、  
新素材-9、システムソリューション+2

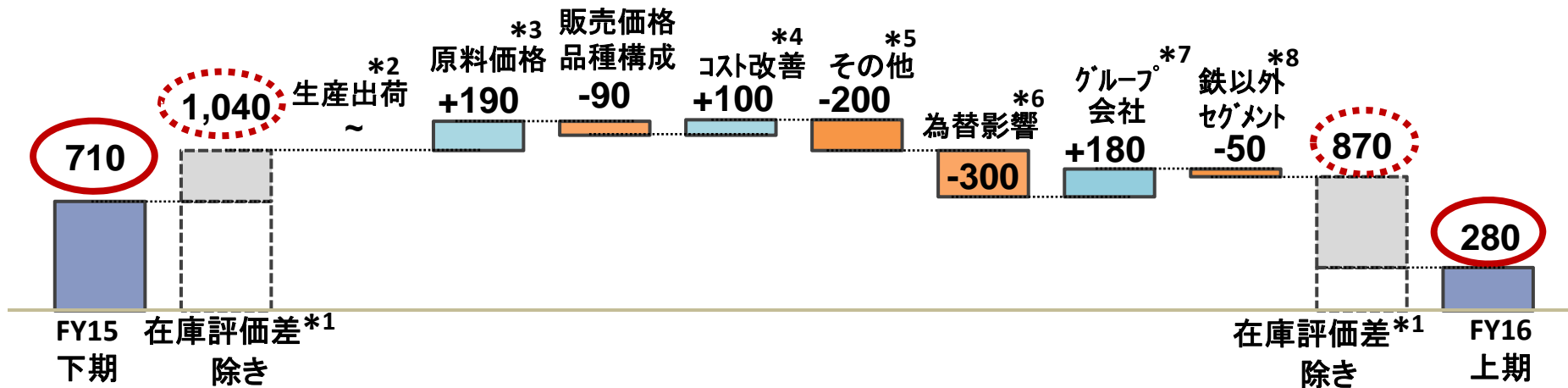
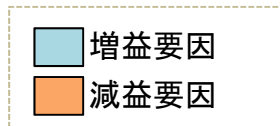




# 経常損益分析 (FY15/下期→FY16/上期)

(単位:億円)	FY15/下期 [A]	FY16/上期 [B]	増減 [A→B]
<b>経常利益</b>	<b>710</b>	<b>280</b>	<b>-430</b>
製鉄	493	140	-353
鉄以外セグメント	187	134	-53
調整額	30	4	-26

- \*1 在庫評価差 -260 (-330 → -590)
- \*2 粗鋼+40万トﾝ (2,111→2,151)  
出荷-29万トﾝ (1,998→1,968)
- \*3 キャリーオーバー影響含む
- \*4 統合効果含む
- \*5 退職給付、熊本地震影響、IPP定修差、等
- \*6 ストック:-150 (-50→-200) 7P:-150
- \*7 一過性影響+120 (在庫評価、為替影響 等)
- \*8 エンジニアリング-84、化学+28、  
新素材-7、システムソリューション+10

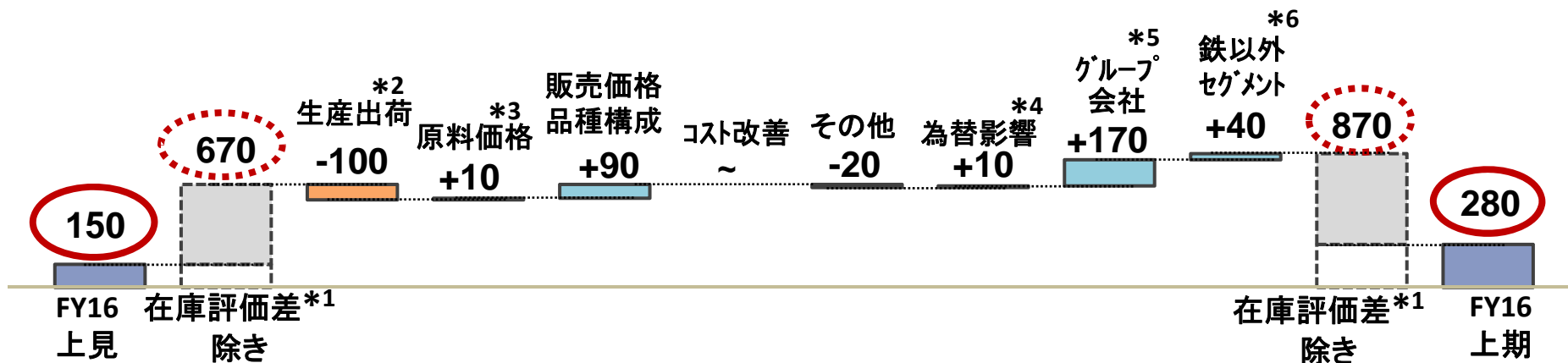


# 経常損益分析 (FY16/上期見通し→FY16/上期)

(単位:億円)	FY16/上見 [A]	FY16/上期 [B]	増減 [A→B]
<b>経常利益</b>	<b>150</b>	<b>280</b>	<b>+130</b>
製鉄	50	140	+90
鉄以外セグメント	95	134	+39
調整額	5	4	-1

- \*1 在庫評価差 -70 (-520 → -590)
- \*2 粗鋼-29万トン程度 (2,180程度→2,151)  
出荷-62万トン程度 (2,030程度→1,968)
- \*3 キャリーオーバー影響含む
- \*4 フロー: +10
- \*5 NSSC、ウジミナス等
- \*6 エンジニアリング+25、化学-2  
新素材 +2、システムソリューション+13

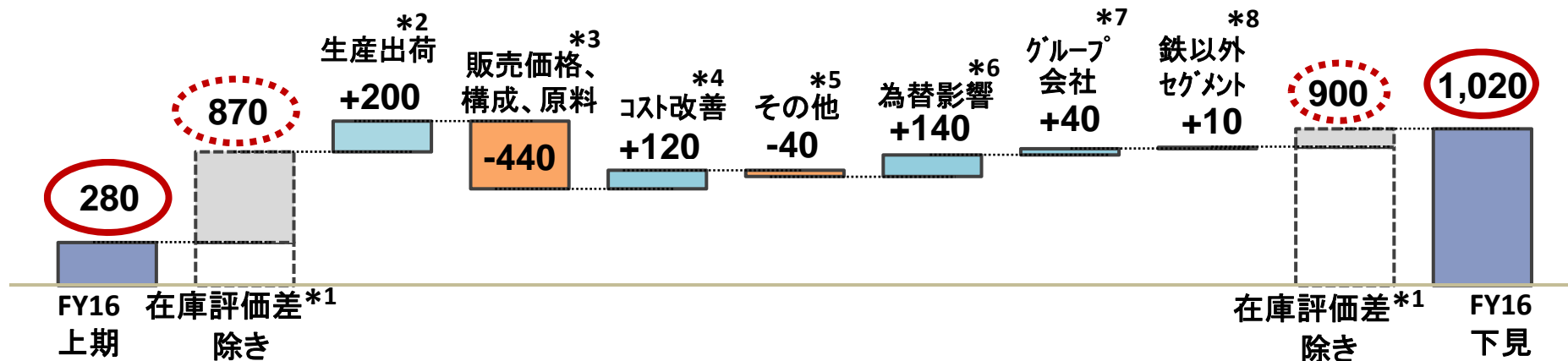
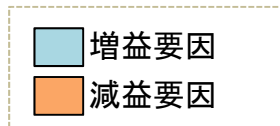
増益要因  
 減益要因



# 経常損益分析 (FY16/上期→FY16/下期見通し)

(単位:億円)	FY16/上期 [A]	FY16/下見 [B]	増減 [A→B]
<b>経常利益</b>	<b>280</b>	<b>1,020</b>	<b>+740</b>
製鉄	140	860	+720
鉄以外セグメント	134	146	+12
調整額	4	16	+12

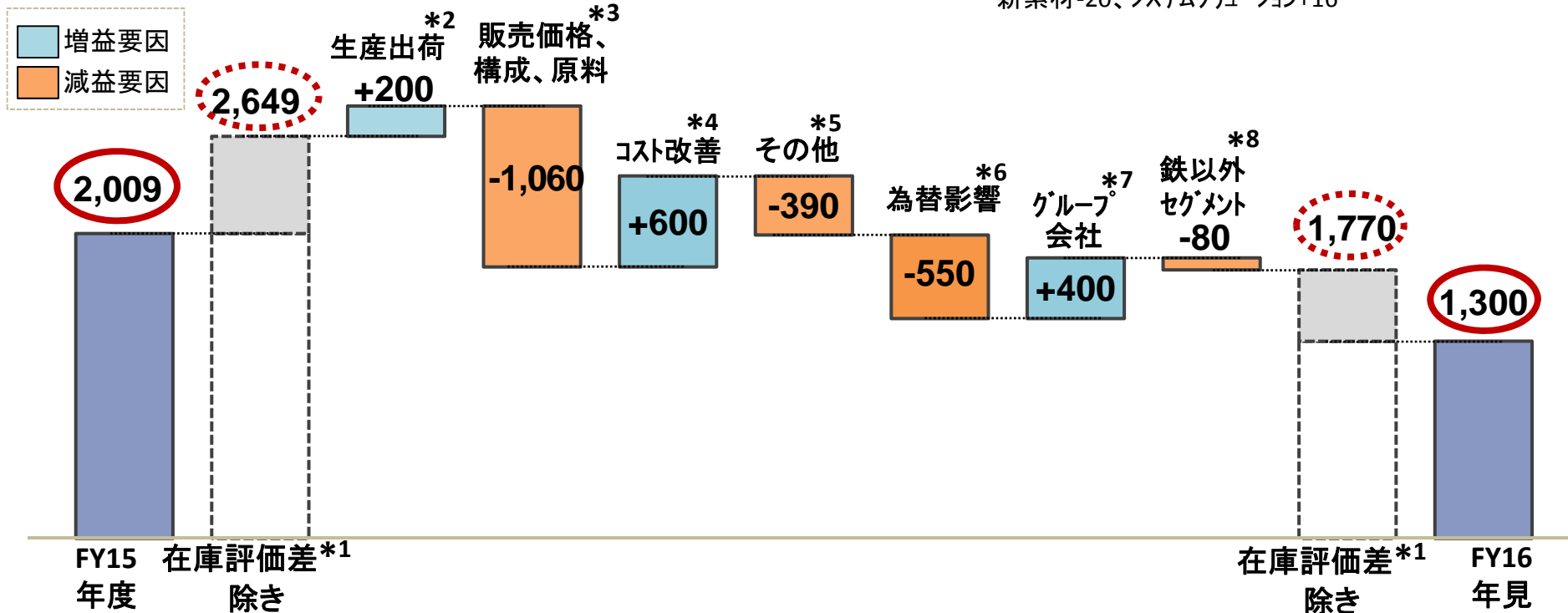
- \*1 在庫評価差 +710 (-590 → 120)
- \*2 粗鋼+49万トシ程度 (2,151→2,200程度)  
出荷+92万トシ程度 (1,968→2,060程度)
- \*3 キャリーオーバー影響含む
- \*4 統合効果含む
- \*5 償却費等
- \*6 ストック:+140 (-200→ -60) 70-: ~
- \*7 季節要因等
- \*8 エンジニアリング~、化学+14、  
新素材-4、システムソリューション+4



# 経常損益分析 (FY15年度→FY16年度見通し)

(単位:億円)	FY15年度 [A]	FY16年見 [B]	増減 [A→B]
<b>経常利益</b>	<b>2,009</b>	<b>1,300</b>	<b>-709</b>
製鉄	1,600	1,000	-600
鉄以外セグメント	358	280	-78
調整額	50	20	-30

- \*1 在庫評価差 +170 (-640 → -470)
- \*2 粗鋼+133万トン程度 (4,217→4,350程度)  
出荷+68万トン程度 (3,962→4,030程度)
- \*3 キャリーオーバー影響含む
- \*4 統合効果含む
- \*5 退職給付、熊本地震影響、受取配当等
- \*6 ストック:-330 (+70→ -260) 為替:-220
- \*7 ウジミナス(為替影響他)、NSSC等
- \*8 エンジニアリング-91、化学+20、  
新素材-20、システムソリューション+16

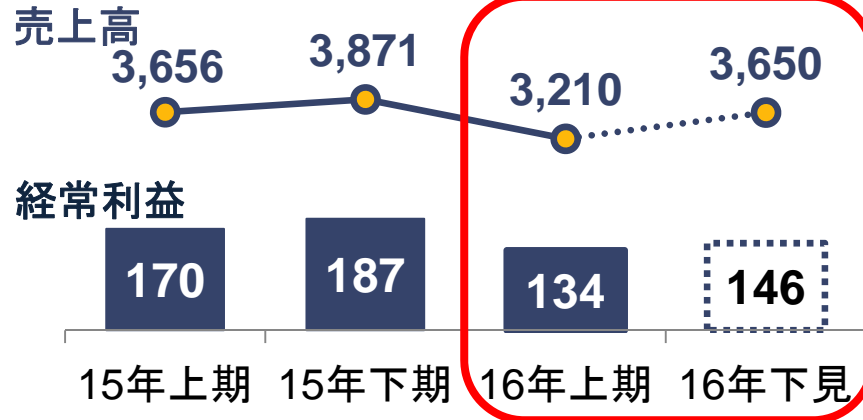


# 製鉄以外セグメント概況

## 売上高・経常利益推移

(単位:億円)

(4セグメント合計)



## 2016年度 経常損益動向 (前年対比)

<b>エンジニアリング事業</b>	↓ 減益	: 原油価格の低迷と円高の影響等により、減収減益の見通し。
<b>化学事業</b>	↑ 増益	: 円高や化学品の市況下落により減収も、エスパネックス販売増と在庫評価影響減により増益の見通し。
<b>新素材事業</b>	↓ 減益	: 表面処理銅ワイヤや炭素繊維の需要は堅調に増加したものの、新興国経済の停滞、市場競争激化、円高進行等の影響を受け、減収減益。
<b>システムソリューション事業</b>	↑ 増益	: 業務ソリューション・サービスソリューション共に増収の見通し。販管費増を見込むものの、粗利率改善効果もあり、増益となる見通し。

(単位:億円)

エンジニアリング事業	2015年度		2016年度見通し		(対前年度)
	上期		上期		
売上高	1,402	3,157	1,165	2,700	(-457)
経常利益	21	121	15	30	(-91)

化学事業	2015年度		2016年度見通し		(対前年度)
	上期		上期		
売上高	1,013	1,818	812	1,600	(-218)
経常利益	31	10	8	30	(+20)

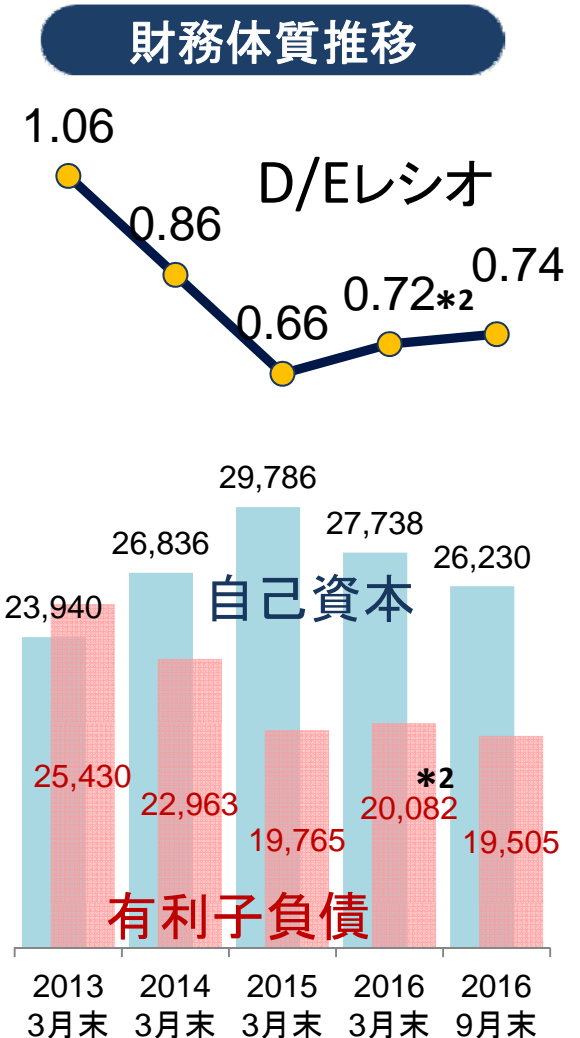
新素材事業	2015年度		2016年度見通し		(対前年度)
	上期		上期		
売上高	178	362	171	330	(-32)
経常利益	16	30	7	10	(-20)

システムソリューション事業	2015年度		2016年度見通し		(対前年度)
	上期		上期		
売上高	1,062	2,189	1,060	2,230	(+41)
経常利益	101	194	103	210	(+16)

# 貸借対照表

(億円)	2016年 3月末	2016年 9月末	(億円)	2016年 3月末	2016年 9月末
流動資産合計	19,900	18,200	負債合計	34,159	33,243
たな卸資産	11,109	10,621	有利子負債	20,082	19,505
固定資産合計	44,349	43,590	純資産合計	30,090	28,548
有形固定資産	25,792	25,531	自己資本	27,738	26,230
投資有価証券	5,924	5,989	評価差額金*1	1,713	1,550
関係会社株式	9,798	9,302	非支配株主持分	2,352	2,317
資産合計	64,250	61,791	負債純資産合計	64,250	61,791

	2016年3月末	2016年9月末	増減
総資産 (億円)	64,250	61,791	-2,459
有利子負債(〃)	20,082	19,505	-576
自己資本 (〃)	27,738	26,230	-1,507
D/Eレシオ (倍)	0.72	0.74	+0.02



\*1 その他有価証券評価差額金    \*2: 2015年7月に実施したハイブリッド証券から劣後ローンへのリファイナンス影響を含む。  
(有利子負債3,000億円増、D/Eレシオ0.1程度増。格付け評価上影響は無い)

## 第2四半期末の剰余金の配当

当第2四半期末の剰余金の配当につきましては、既公表の配当方針に従い、第1四半期決算発表時(2016年7月28日)に公表致しましたとおり、誠に遺憾ではありますが、実施を見送ることとさせていただきます。

なお、当期末の配当につきましては、第3四半期決算発表時に、年度見通しの当期純利益を踏まえて判断し、公表する予定です。

### < 剰余金の配当等の決定に関する方針 >

当社は、業績に応じた利益の配分を基本として、企業価値向上に向けた投資等に必要な資金所要、先行きの業績見通し、連結及び単独の財務体質等を勘案しつつ、第2四半期末及び期末の剰余金の配当を実施する方針と致しております。

「業績に応じた利益の配分」の指標としては、連結配当性向年間20～30%を目安と致します。

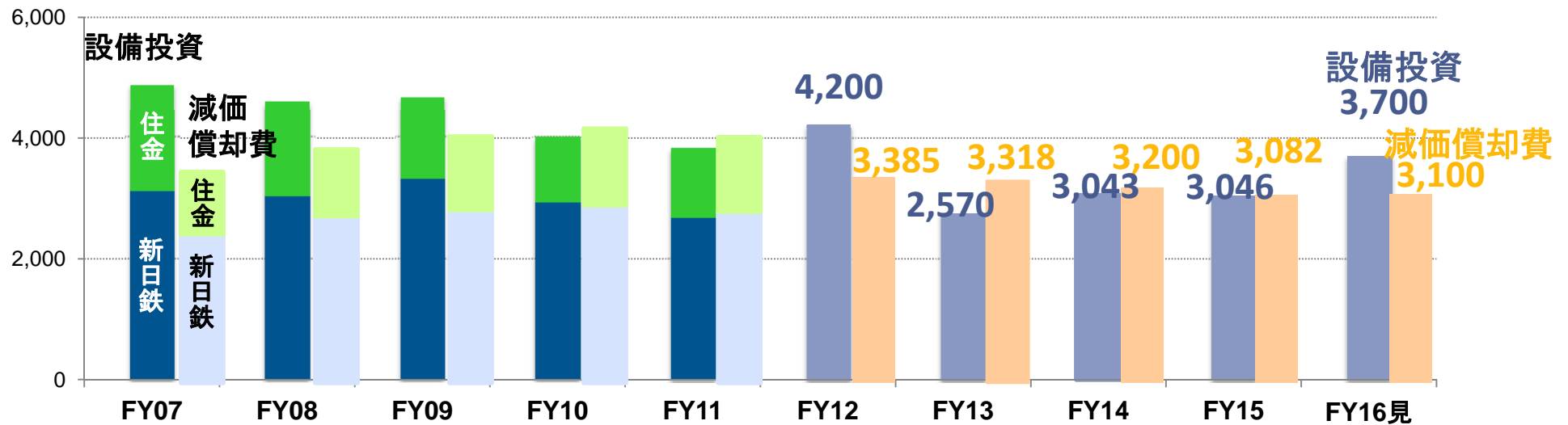
なお、第2四半期末の剰余金の配当は、中間業績及び年度業績見通しを踏まえて判断することとしております。



# 設備投資・減価償却費

(単位:億円)

新日鐵住金 (上段:新日鐵 下段:住金)	FY07	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14	FY15	FY16見
設備投資 <工事ベース>	4,900 (3,100) (1,788)	4,600 (3,000) (1,591)	4,650 (3,300) (1,366)	4,000 (2,900) (1,099)	3,800 (2,650) (1,157)	4,200	2,570	3,043	3,046	3,700 程度
減価償却費	3,465 (2,440) (1,025)	3,835 (2,737) (1,098)	4,048 (2,840) (1,208)	4,177 (2,915) (1,262)	4,038 (2,809) (1,229)	3,385	3,318	3,200	3,082	3,100 程度



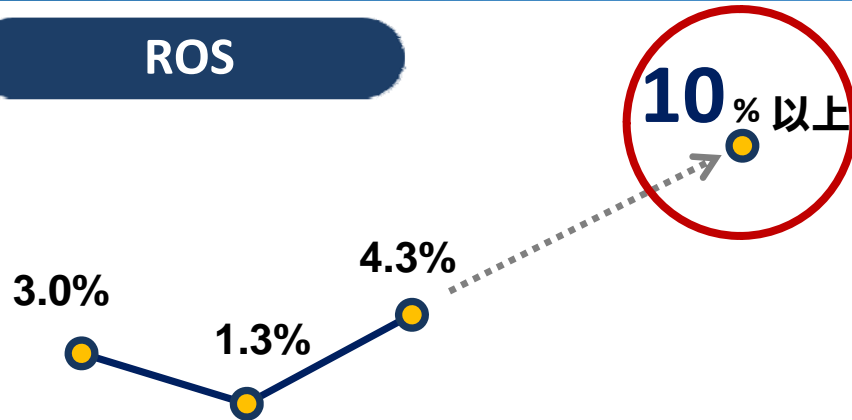
※ 設備投資：FY07～12の新日鐵住金は、新日鐵と住金の合算値を50億円単位で四捨五入



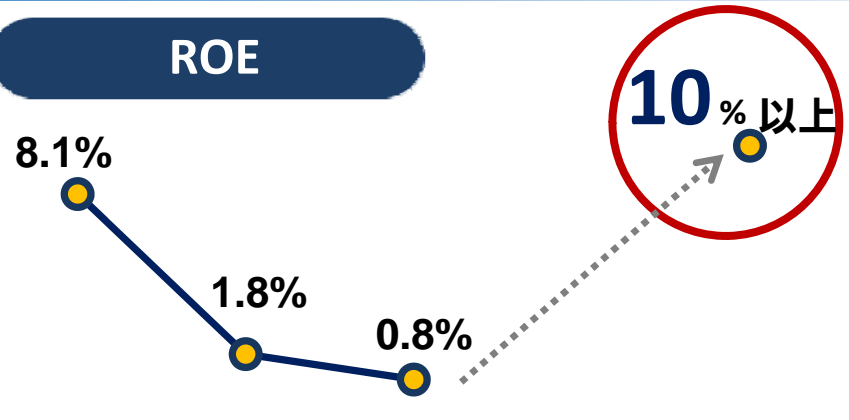
## 2. 中期経営計画の進捗状況

# 中期経営計画 進捗状況：定量的指標の目標値

ROS



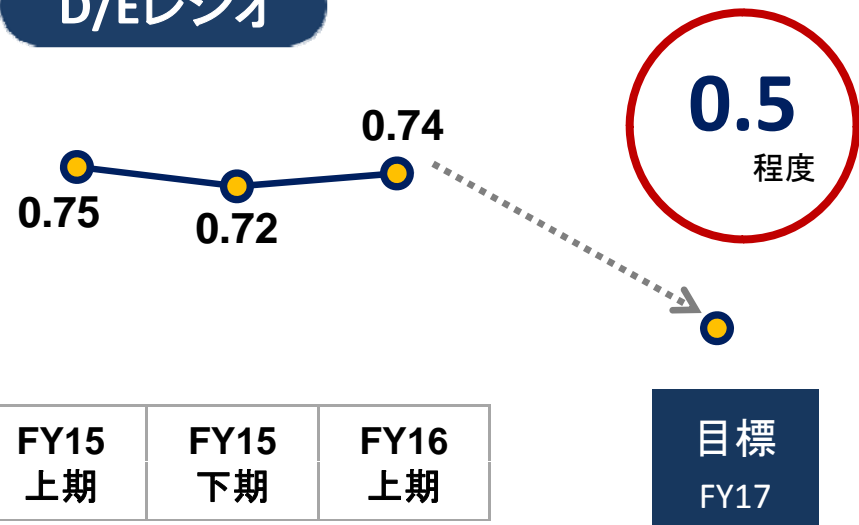
ROE



コスト改善 (億円)



D/Eレシオ

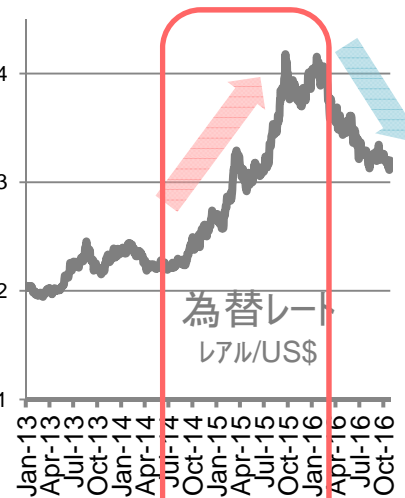
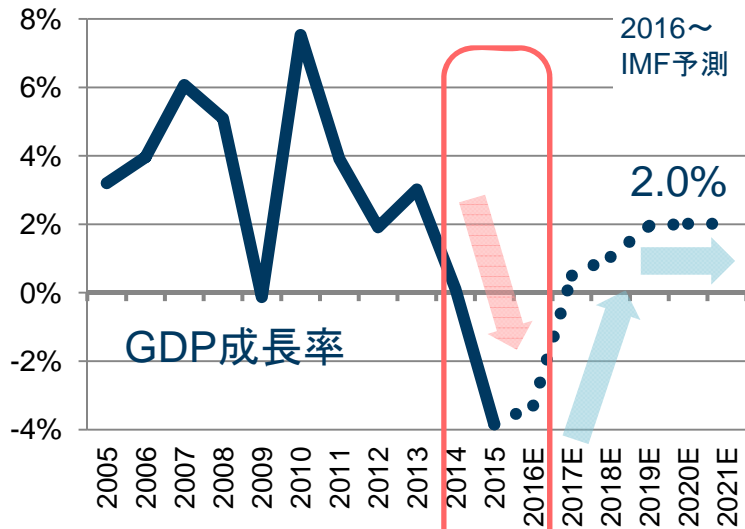


# 中期計画 進捗状況

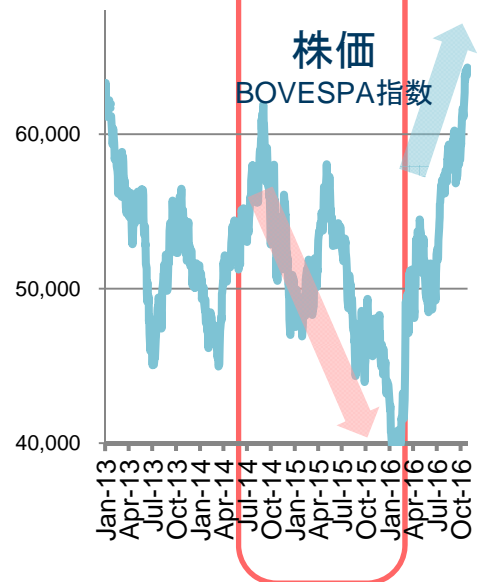
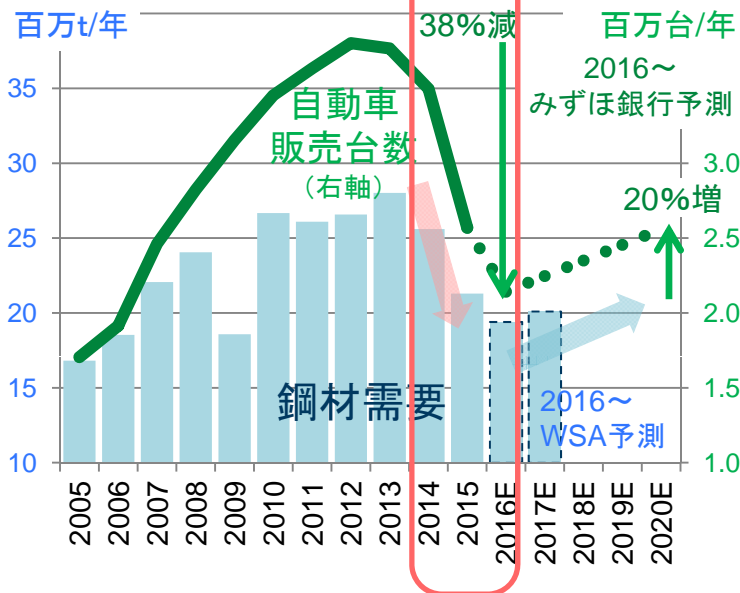
	社名／製造所	内容	FY15		FY16		FY17	FY18 以降
			1H	2H	1H	2H		
マザーミルの強化	君津	第3高炉休止		★ 3/12				
	八幡	鉄源最適生産体制構築						★ FY18～20予定
	鹿島・君津	コークス炉リフレッシュ			★★ (鹿/1F) 8/25竣工	★★ (君/第4A) 8月立上	★ (君/第4B) 1月予定	★ (鹿/2E) 4月予定
グローバル事業強化  海外JV 生産能力 2012年度末 900万t  ↓ 足下 1,900万t	BNA (中国:自動車鋼板/宝鋼とのJV能力拡大)	No.4CGL稼働開始	★	9/15				
	ICI (米国:クランクシャフト/鍛造プレスライン新設)	第4ライン商業生産開始		★ 10/30				
	NSCh (中国:自動車向線材/NBC中国の能力増強)	稼働開始		★ 12/11				
	VAM® BRN (ブルネイ:鋼管/住友商事とのJV)	稼働開始予定				★ FY16予定		
	KOS (インドネシア:建材/大阪製鐵とPTKSとのJV)	稼働開始予定				★ FY16予定		
	KNSS (インドネシア:自動車鋼板/PTKSとのJV)	稼働開始予定					★ FY17予定	
	NSCI (米国:自動車用線材/二次加工メーカーとのJV)	稼働開始予定					★ FY17予定	
	VSB・VBR統合 (伯:鋼管/パローレックの100%子会社との統合)	経営統合				★ 10/1		
	NS BlueScope (タイ:建材薄板/第3溶融めっきラインの新設)	第3溶融めっきライン新設						★ FY18予定
	AGIS (UAE:建材薄板/第2溶融亜鉛めっきライン)	第2溶融亜鉛めっきライン 商業生産開始				★ 10月		

### 3. 当社ブラジル事業について

# ブラジル経済の悪化と巡航速度に向けた回復



- 資源価格下落
- 政治混乱(ペトロブラス等)
- 2014年以降の急速な経済減速は、リーマン時を上回る未曾有の危機(とりわけ自動車、エネルギー分野で顕著な悪化)
- 新政権下による緊縮財政・構造改革への政策転換
- 経済は底打ち、緩やかに回復見込み



国別自動車販売台数  
(百万台/年)

	2014	2015
1 中国	23.5	中国 24.6
2 米国	16.9	米国 17.9
3 日本	5.6	日本 5.0
4 <b>ブラジル</b>	<b>3.5</b>	ドイツ 3.5
5 ドイツ	3.3	インド 3.4
6 インド	3.2	英国 3.1
7 英国	2.8	<b>ブラジル 2.6</b>

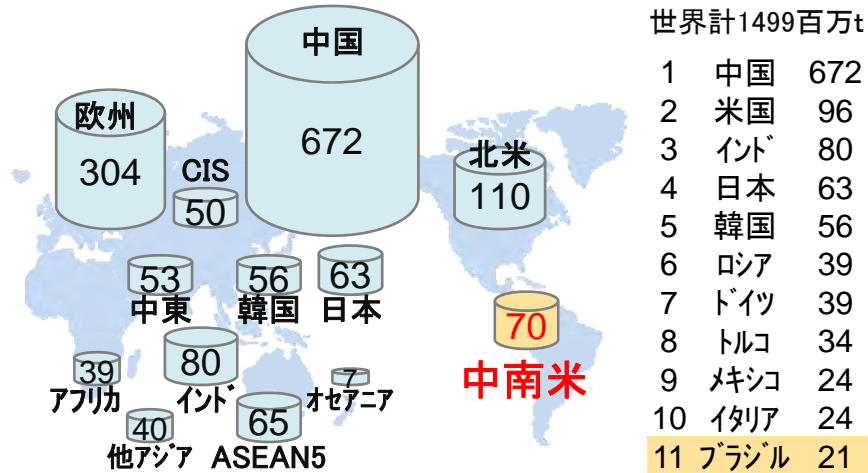
# 鉄鋼市場規模と成長ポテンシャル

- ブラジルは依然として世界的に大きな鉄鋼市場
- 世界的保護主義の中、Market-inの必要性増大

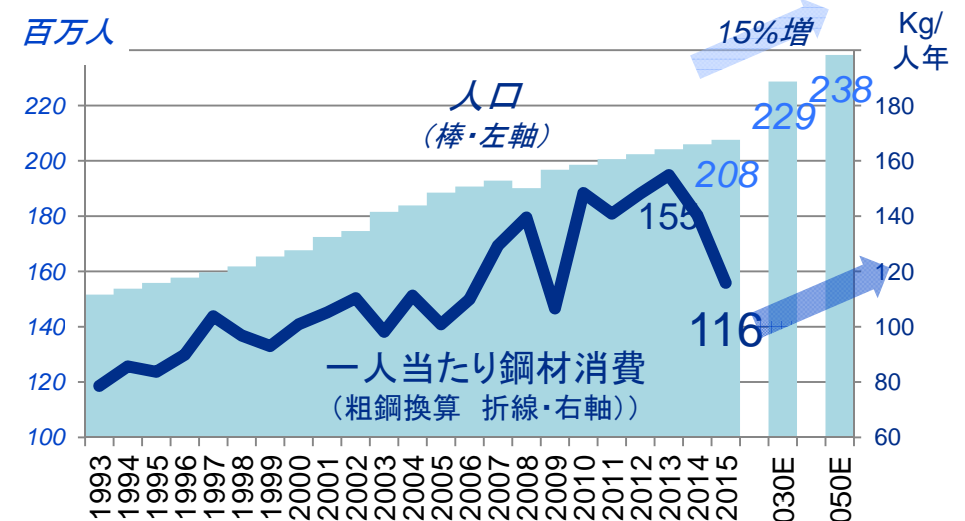
- 一人当たり鋼材消費は依然低位
- 今後も人口増加

➤ 鉄鋼需要はGDP以上の成長余地

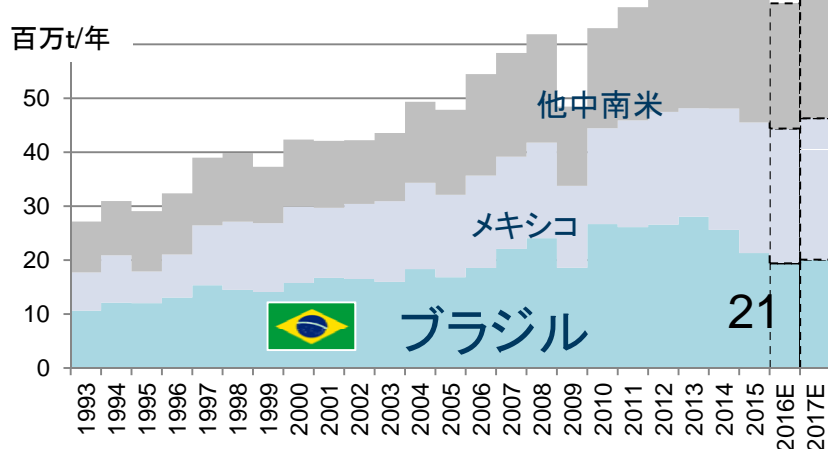
## グローバル鋼材需要分布 (2015年)



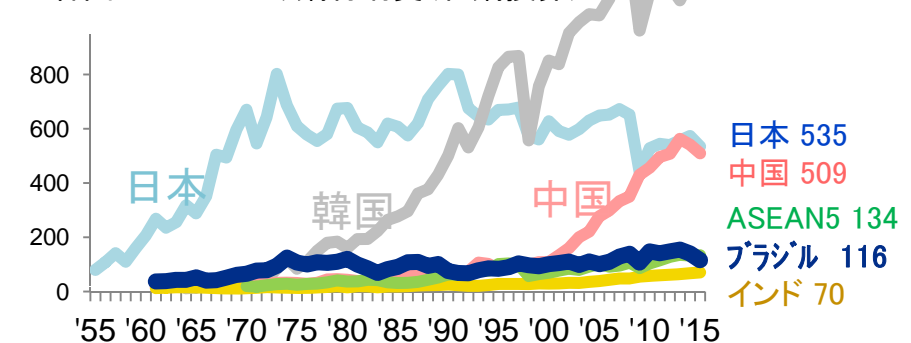
## ブラジルの一人当たり鋼材消費と人口推移



## 中南米鋼材消費推移



## Cf.各国の一人当たり鋼材消費 (粗鋼換算)



(出展: World Steel Association)

© 2016 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

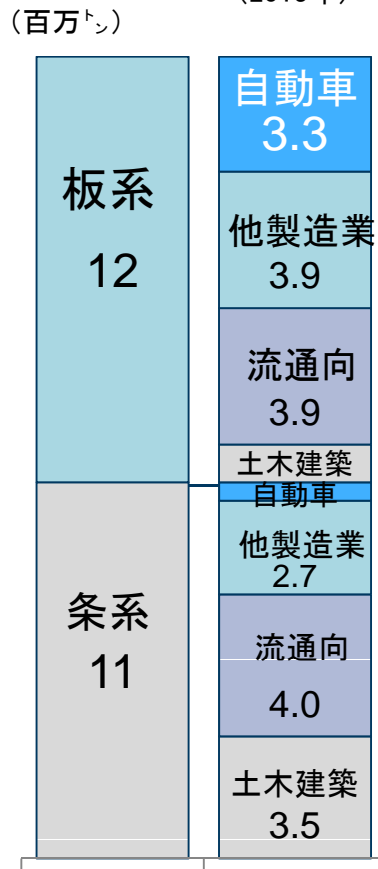
# 鉄鋼市場構造（製造業中心マーケット）とウジミナスのポジション

- 工業化された鉄鋼需要の存在  
(製造業向け、とりわけ自動車向け比率の高さ)
- 当社技術の強みが活かせる市場

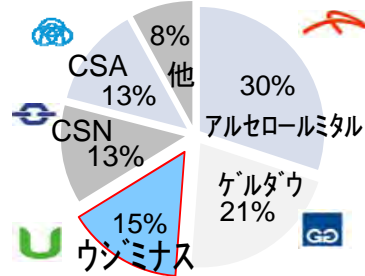
## 【ウジミナスの強み】

- 板系トップシェア
- 自動車鋼板 (UNIGAL)、エネルギー向け厚板 (CLC) 等  
高級鋼対応可能な設備装備力

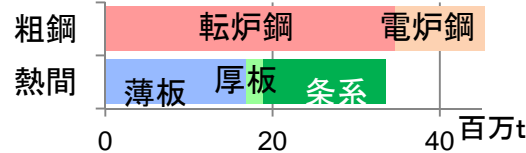
## 鋼材需要構成 (2013年)



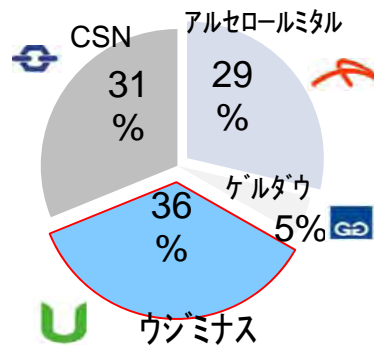
## 国内粗鋼生産シェア



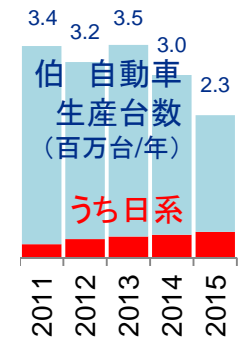
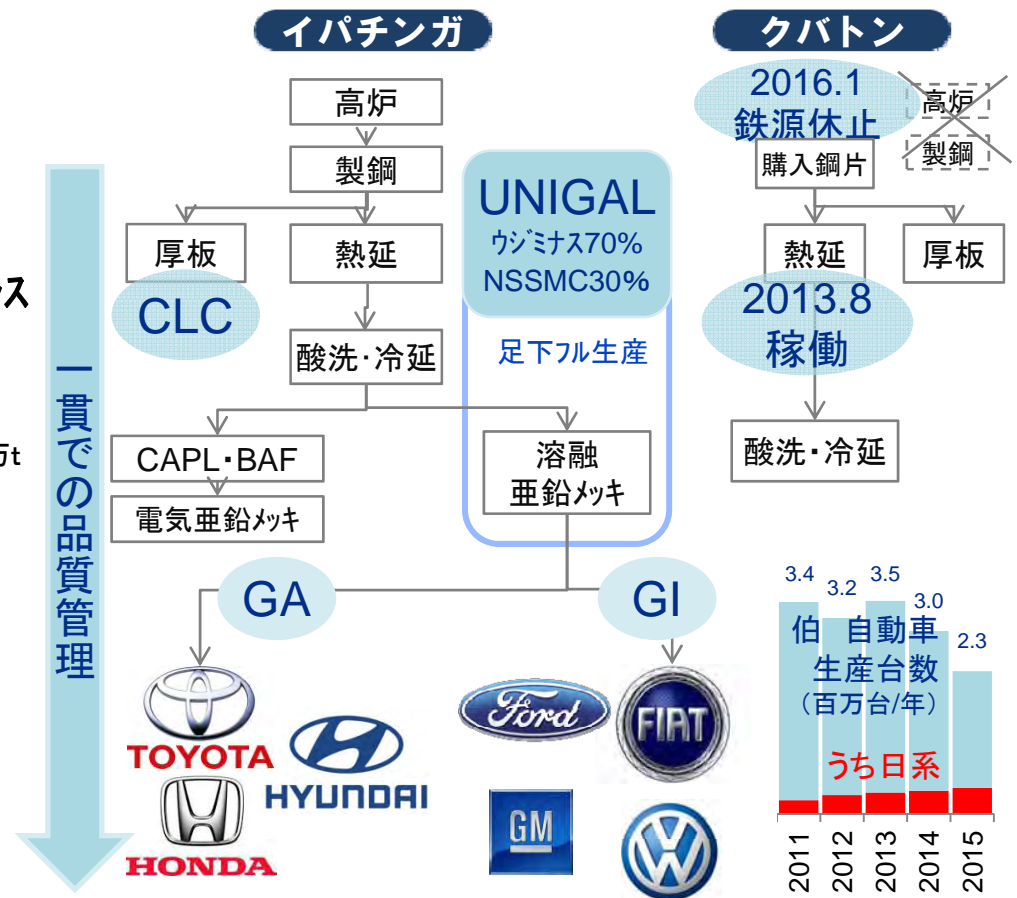
## 粗鋼・熱間圧延 能力バランス



## 国内板系生産シェア



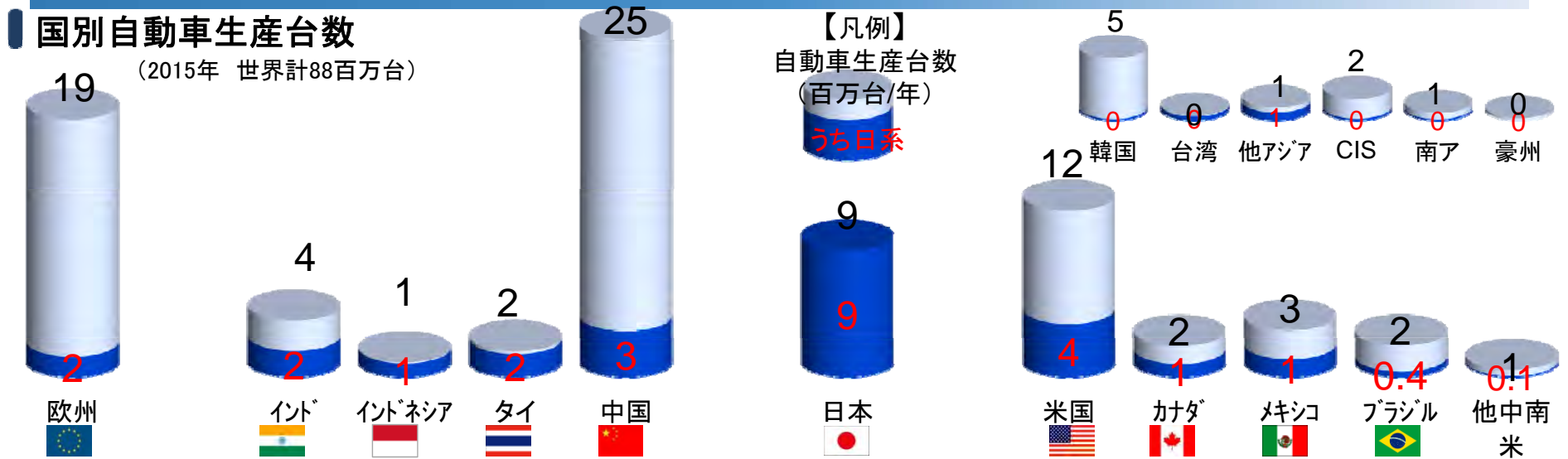
## ウジミナスの設備構成と強み



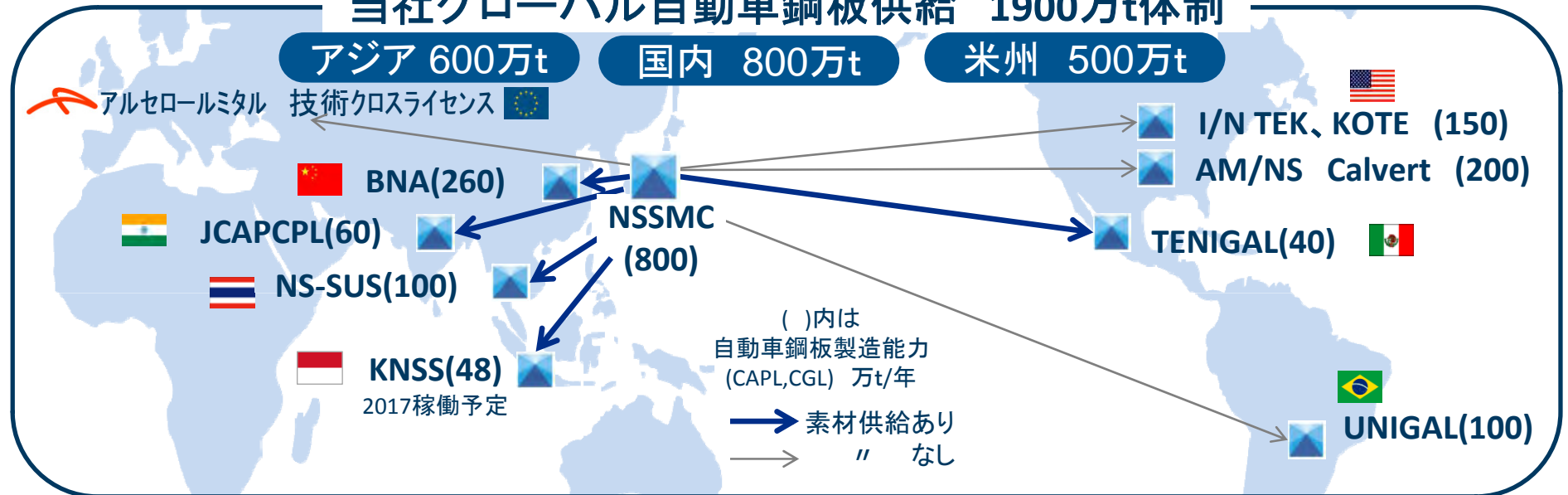
(出典: IABr)



# (参考) 当社グローバル自動車鋼板供給体制



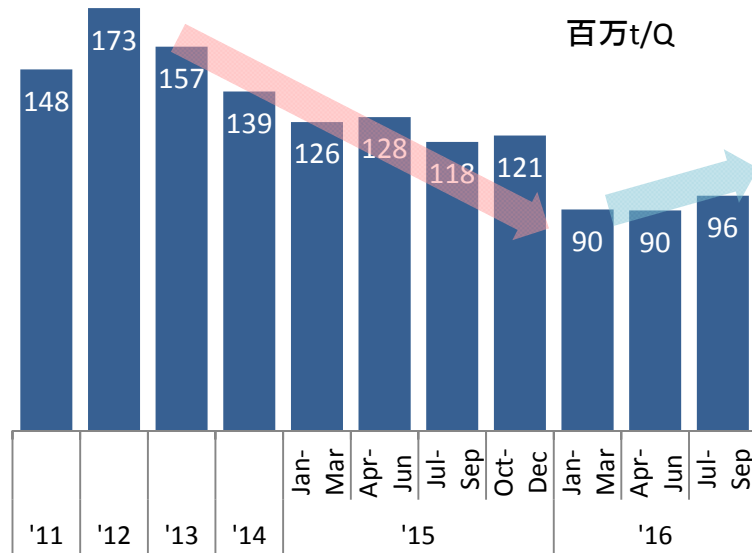
## 当社グローバル自動車鋼板供給 1900万t体制



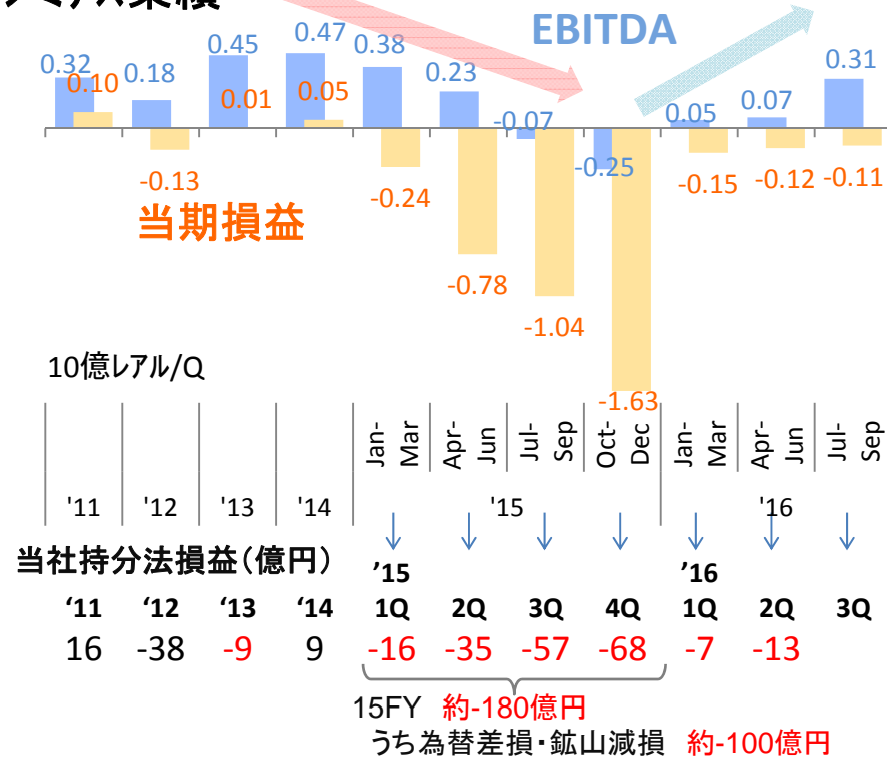


# ウジミナス社業績の底打ち回復、増資・債務リストラ完了

## ウジミナス鋼材出荷量



## ウジミナス業績



## 資金対策

### 【増資】

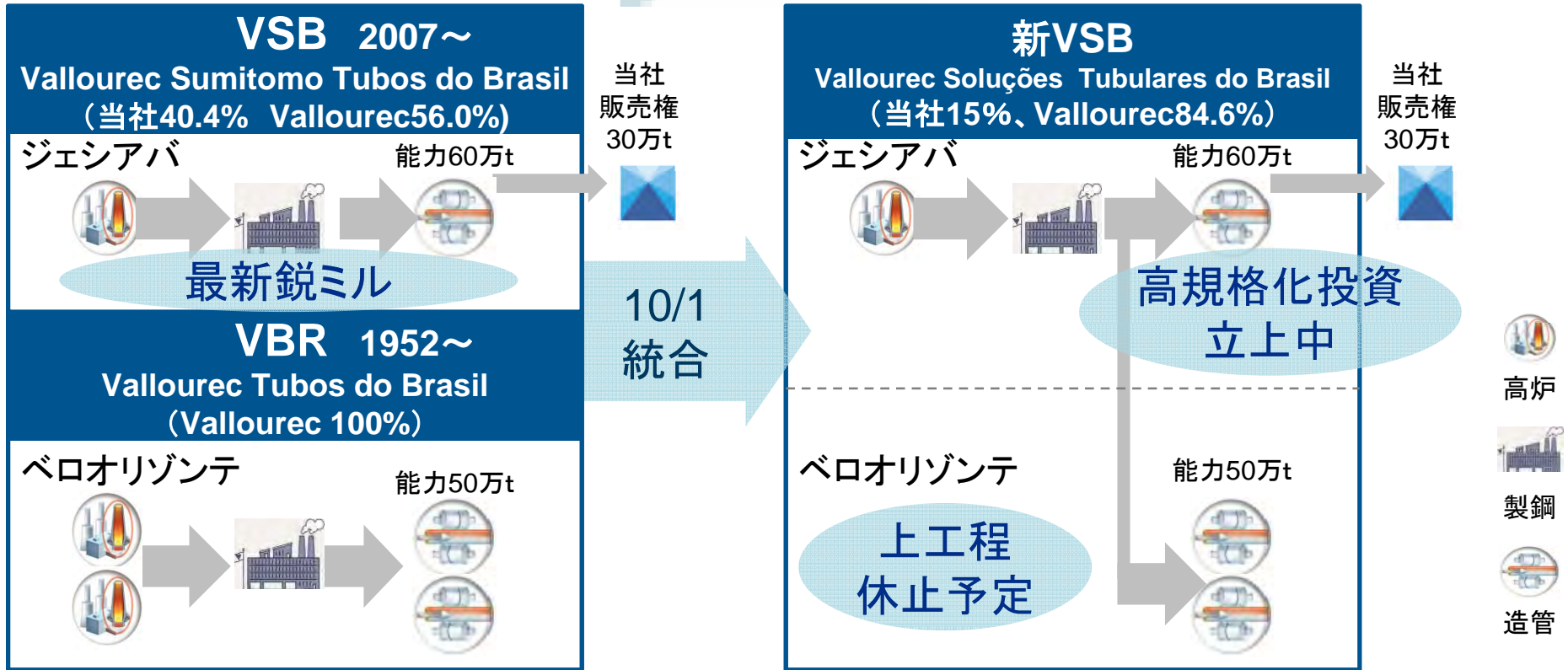
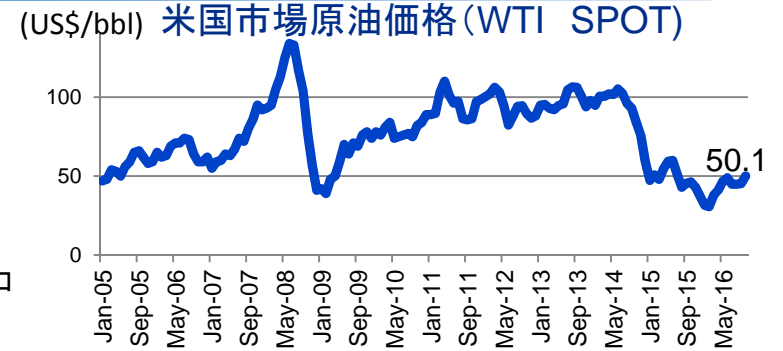
- 2016年4月18日決議 7月19日増資手続き完了
- 普通株10億レアル(約300億円)
- うち当社引受 3.65億レアル(114億円)
- 当社持分
  - 協定株主内比率 43.57%⇒43.57%
  - 普通株保有比率 29.30%⇒31.35%
  - 経済持分 15.44%⇒17.49%

### 【債務再編】

- 2016年9月12日 債務再編に関する契約完了(総債務の92%相当)
- 元本返済3年繰延。  
以降7年間で段階的に返済。

# バローレック社とのブラジル鋼管事業

- 10/1 VSB・VBR統合⇒シナジー発揮
  - ・設備統合(旧VBRの上工程休止)
  - ・販管費削減
- ジェシアバ造管工場 高規格化投資  
順次工事・立ち上げ中



# 当社ブラジル事業(ウジナス・VSB)の意味合いと取り組み

## 当社における意味合い

- ▶ 当社技術力が活きる市場での成長捕捉  
 ~全世界的に保護主義傾向の強まる中で、既にマーケットインした拠点を活用
- ▶ 自動車鋼板グローバル供給体制の一翼  
 ~伯内日系自動車メーカーへの高シェア+欧米系メーカーへの供給(GI知見蓄積)
- ▶ 高炉一貫製鉄所  
 ~国内マザーミルから遠距離地域での一貫品質管理による高級鋼供給  
 cf. 新規一貫製鉄所建設コスト 約1,500US\$/t 700万t規模⇒100億\$

## ウジナス社 足下の状況

- ▶ 7/19 増資手続き完了、9/12 債務再編完了⇒経済環境回復までの期間の資金確保  
 株主・債権者が一体でウジナスを支える体制が確立
- ▶ 10/5 ミナスジェライス州高裁決定(Romel CEO復帰)⇒株主間協定の法的拘束性が明確化
- ▶ 今後、収益力強化・利益成長に注力 ⇒ 債務再編の完遂を目指す

## 当社の取り組み

### 【ウジナス】

- ▶ 従来同様、ウジナスの取り組みを最大限サポート
- ▶ 対等JV経営安定化の仕組み(CEO交代指名制等)構築に向け、株主間対話を継続

### 【VSB】

- ▶ 10/1 VSB・VBR統合⇒来年:上工程集約(合理化)、メジャー対応精整強化(高規格化)
- ▶ 合理化等を進め、ハイエンド:和歌山、メジャー向ミドルエンド:VSBの分業体制を戦力化へ

## 4. 参考データ

# 世界の経済成長率推移

<2016年10月4日IMF改定値>

前回(2016.7.19)

	CY08	CY09	CY10	CY11	CY12	CY13	CY14	CY15		CY16 見通し	CY17 見通し
世界 合計	3.0	-0.5	5.3	3.9	3.4	3.4	3.4	(3.1) 3.2	(3.1) 3.1	(3.4) 3.4	
先進諸国	0.5	-3.4	3.2	1.7	1.2	1.4	1.9	(1.9) 2.1	(1.8) 1.6	(1.8) 1.8	
米国	0.4	-2.6	3.0	1.8	2.3	2.2	2.4	(2.4) 2.6	(2.2) 1.6	(2.5) 2.2	
欧州	0.6	-4.1	1.9	1.5	-0.7	-0.4	0.9	(1.7) 2.0	(1.6) 1.7	(1.4) 1.5	
日本	-1.2	-6.3	4.4	-0.6	1.5	1.6	0.0	(0.5) 0.5	(0.3) 0.5	(0.1) 0.6	
新興諸国	6.1	2.7	7.5	6.2	5.1	5.0	4.6	(4.0) 4.0	(4.1) 4.2	(4.6) 4.6	
中国	9.6	9.2	10.4	9.3	7.7	7.7	7.3	(6.9) 6.9	(6.6) 6.6	(6.2) 6.2	
インド	7.3	6.8	10.6	6.3	4.7	6.9	7.2	(7.6) 7.6	(7.4) 7.6	(7.4) 7.6	
ASEAN5*	4.7	1.7	7.0	4.5	6.2	5.1	4.6	(4.8) 4.8	(4.8) 4.8	(5.1) 5.1	
ロシア	5.6	-7.8	4.3	4.3	3.4	1.3	0.7	(-3.7) -3.7	(-1.2) -0.8	(1.0) 1.1	
ブラジル	5.1	-0.6	7.5	2.7	1.0	2.7	0.1	(-3.8) -3.8	(-3.3) -3.3	(0.5) 0.5	

(出所: IMF)

\* ASEAN 5 : タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム

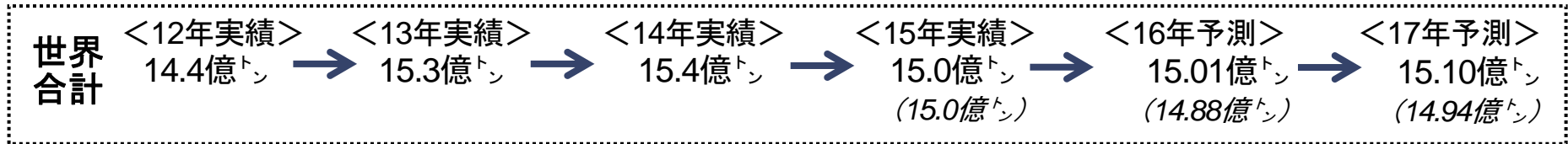


新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

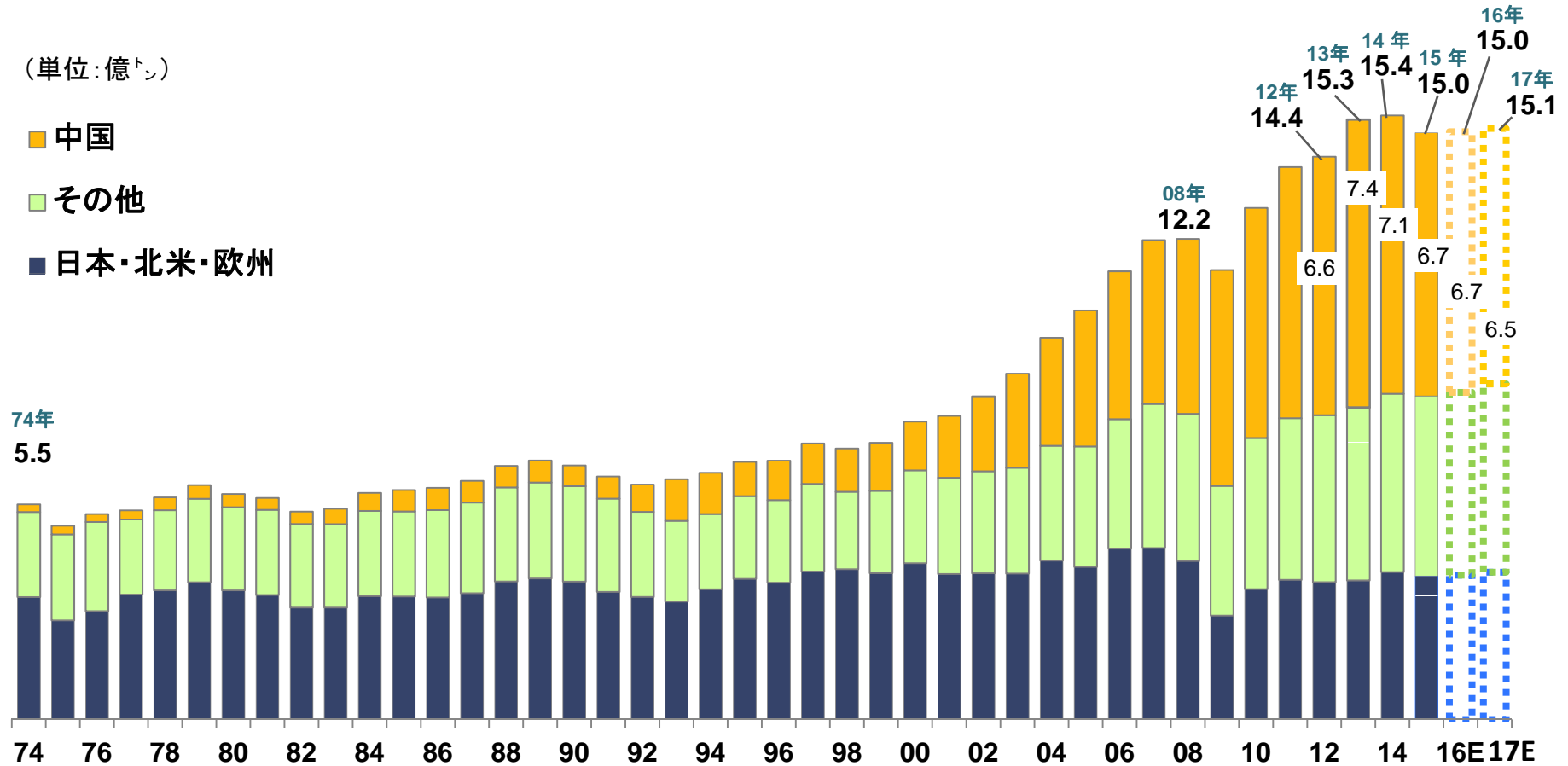
# 世界の鉄鋼需要推移(鋼材見掛消費) <2016年10月11日WSA改訂値>

前回(2016年4月13日)



(単位:億トﾝ)

- 中国
- その他
- 日本・北米・欧州



(出所: World Steel Association)

# 世界月別粗鋼生産量

(百万トン)	CY15 [A]	CY16						CY16 年率換算 [C] (B*12/9)	差異 (A → C)
		1-6	7	8	9	7-9	1-9 [B]		
世界計* (前年同期比)	1,597.8 (-3.0%)	797.2 (-1.5%)	133.9 (0.8%)	134.1 (1.7%)	132.9 (1.6%)	400.0 (1.4%)	1,197.2 (-0.6%)	1,596.3	-1.5 (-0.1%)
日本 (前年同期比)	105.2 (-5.0%)	52.0 (-1.1%)	9.0 (1.5%)	8.9 (1.4%)	8.4 (-1.5%)	26.3 (0.5%)	78.4 (-0.5%)	104.5	-0.6 (-0.6%)
韓国 (前年同期比)	69.7 (-1.9%)	33.4 (-3.4%)	6.0 (1.5%)	5.9 (1.8%)	5.7 (1.1%)	17.6 (1.5%)	51.0 (-1.8%)	67.9	-1.7 (-2.5%)
米国	78.8	40.1	6.7	6.6	6.3	19.7	59.7	79.6	+0.8
EU28	166.1	82.9	13.1	12.0	13.3	38.4	121.3	161.7	-4.4
ロシア	70.9	35.1	6.1	5.9	5.7	17.7	52.7	70.3	-0.6
ブラジル	33.3	14.9	2.7	2.8	2.6	8.1	22.9	30.6	-2.7
インド	89.4	47.0	8.1	8.1	7.9	24.1	71.1	94.8	+5.4
中国 (前年同期比)	803.8 (-2.3%)	401.1 (-0.9%)	66.8 (1.5%)	68.6 (2.4%)	68.2 (3.1%)	202.7 (2.3%)	603.8 (0.2%)	805.0	+1.2 (0.2%)

(出所 : World Steel Association)

\* 世界66カ国の合計値

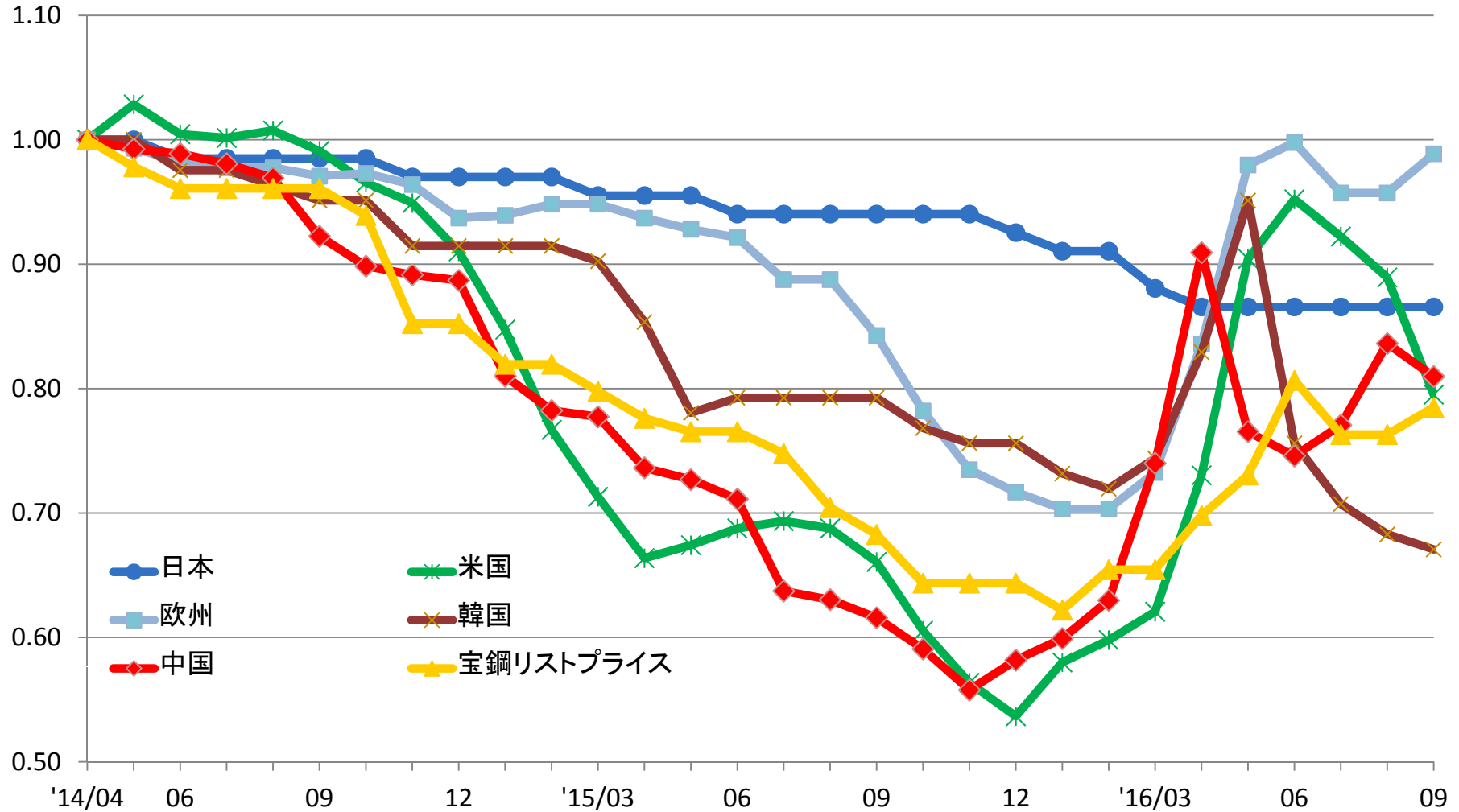


新日鐵住金

NIPPON STEEL &amp; SUMITOMO METAL

# 世界各国ホットコイル市況推移

(2014年4月各現地通貨ベースホットコイル価格=1.0)

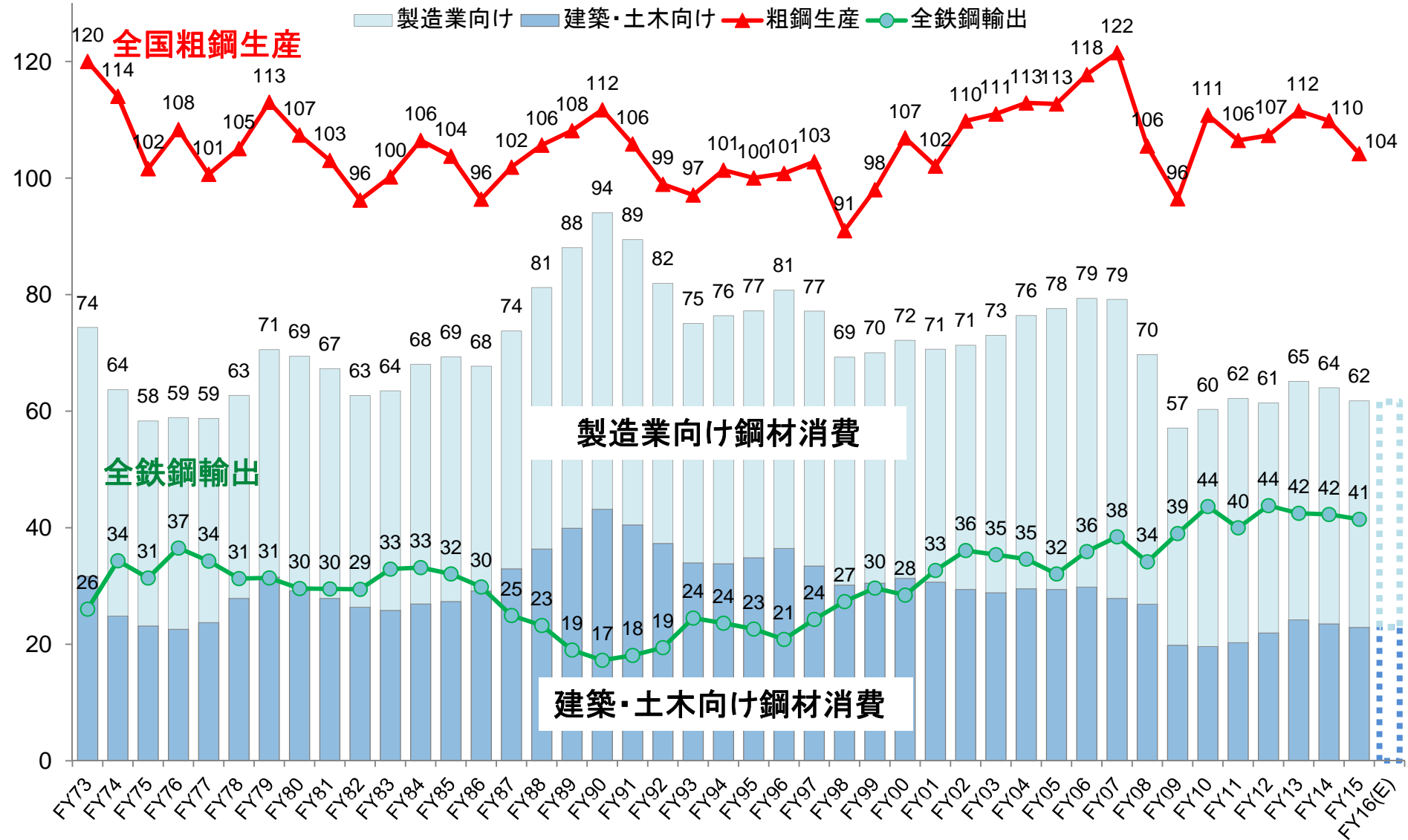


(出所: 日本鉄鋼連盟等データより当社作成)



# 国内鋼材消費推移

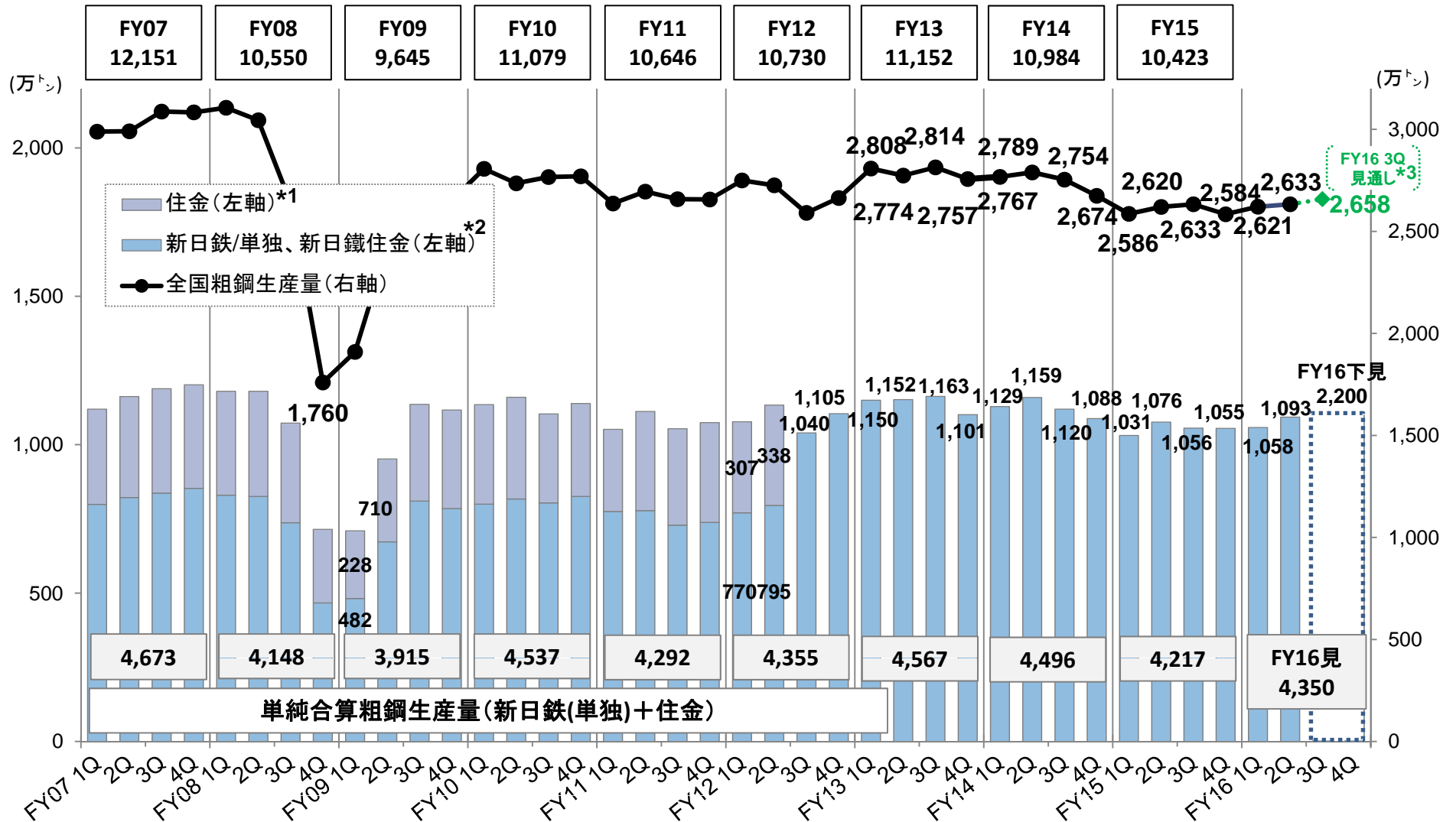
(百万ト)



(出所:各種統計資料・当社推定)

# 国内粗鋼生産量 四半期別推移

全国粗鋼生産量



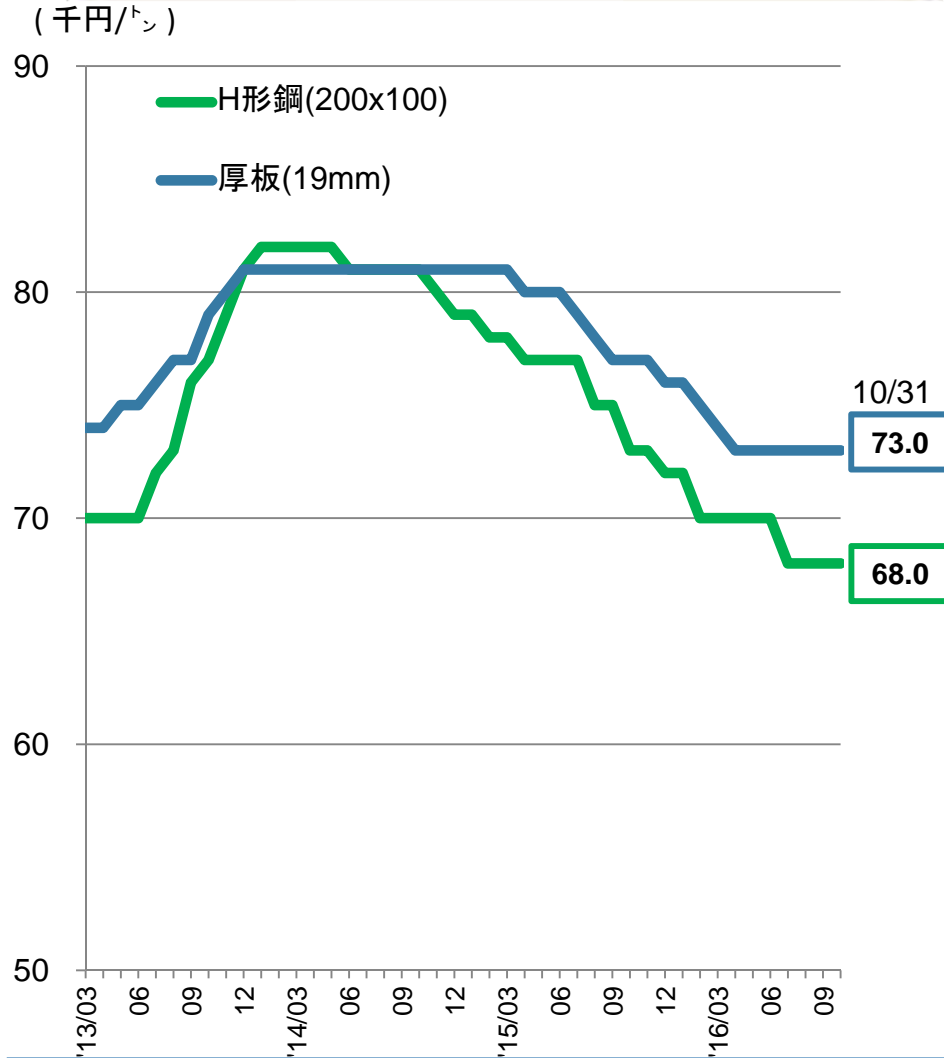
\*1 住金: 旧住金小倉・住金直江津・住金鋼鉄和歌山含み

\*2 新日鐵住金: 日鐵住金鋼鉄和歌山含み

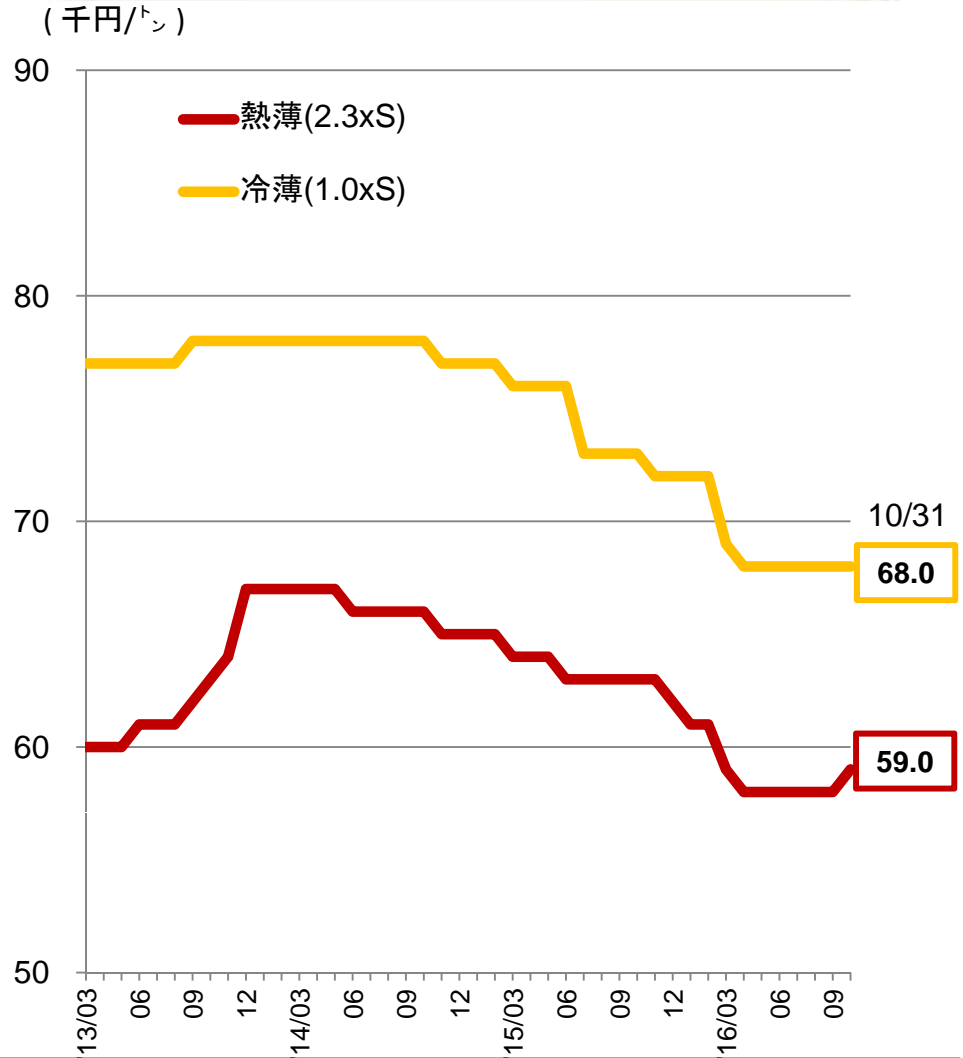
\*3 經濟産業省発表 FY16.3Q鋼材需要見通し

# 国内鋼材市況（店頭価格）

## 厚板・H形鋼



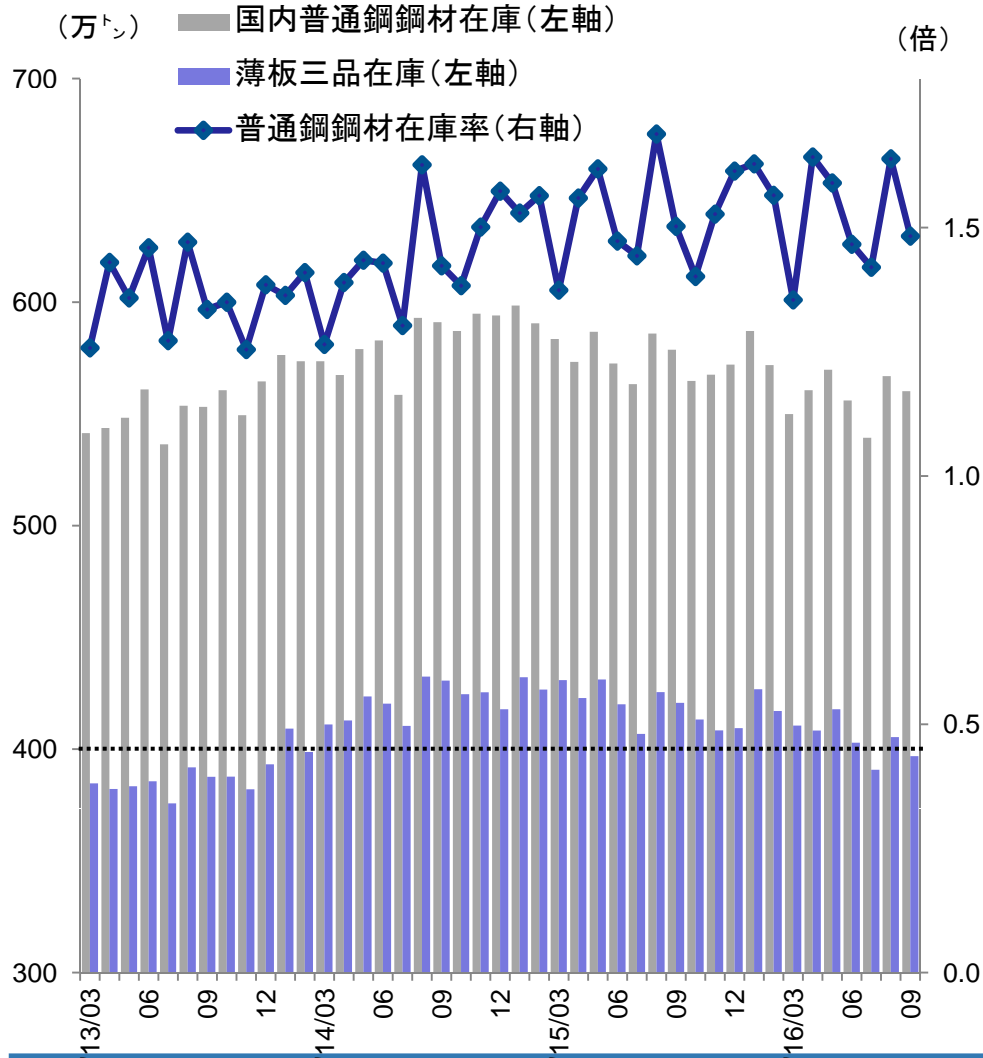
## 熱延・冷延



(出所: 鉄鋼新聞・月末・東京安値、問屋間仲間相場価格)

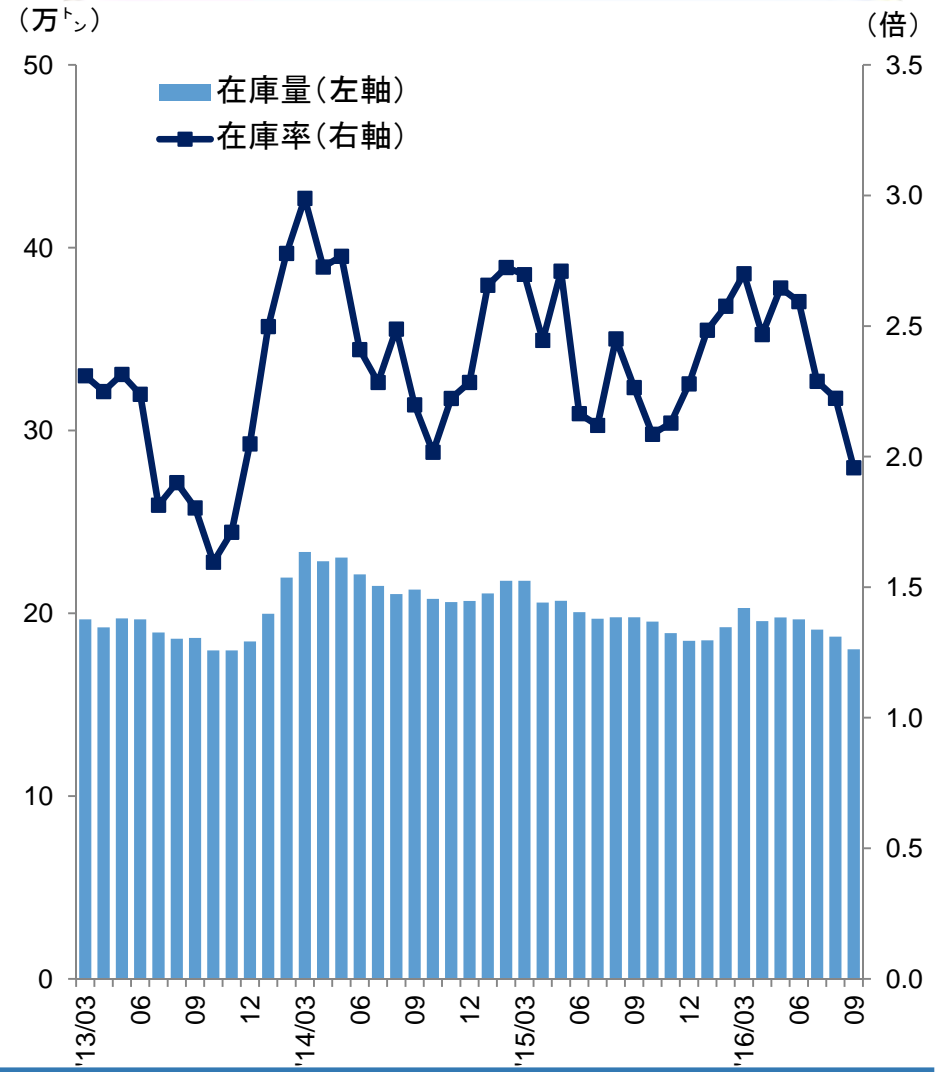
# 国内鋼材在庫推移

## 普通鋼鋼材・薄板三品在庫



(出所: 日本鉄鋼連盟)

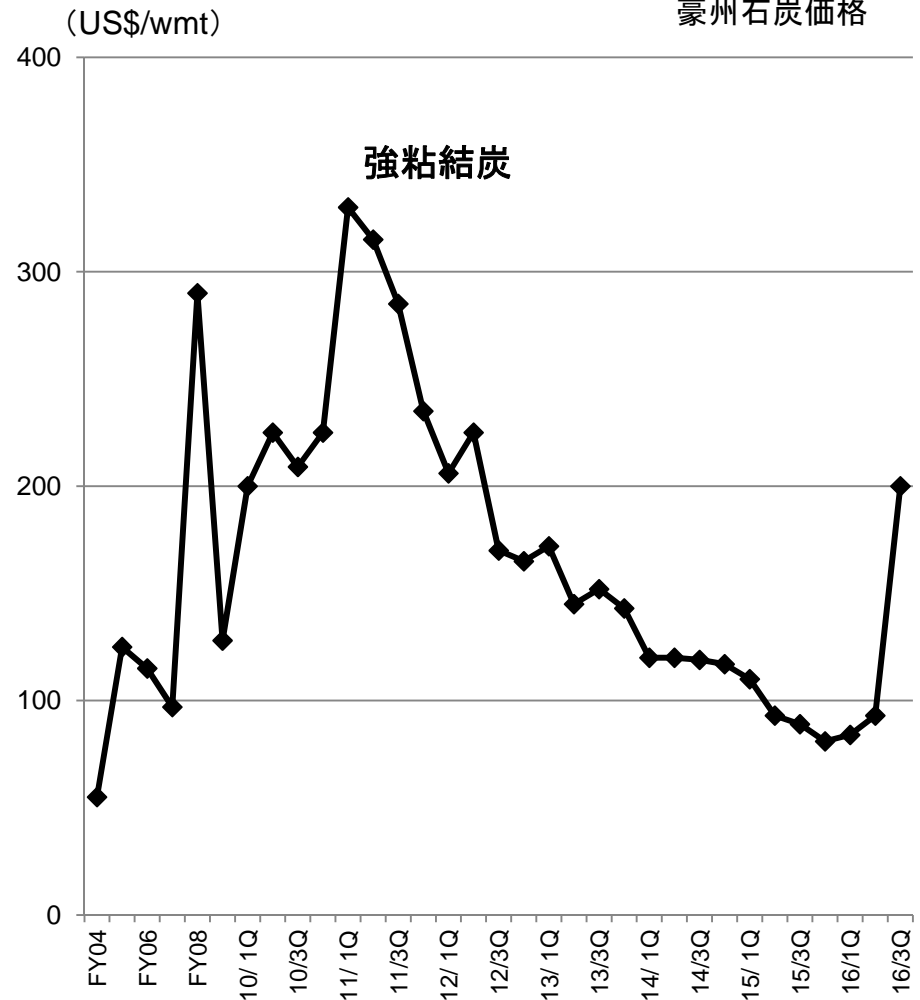
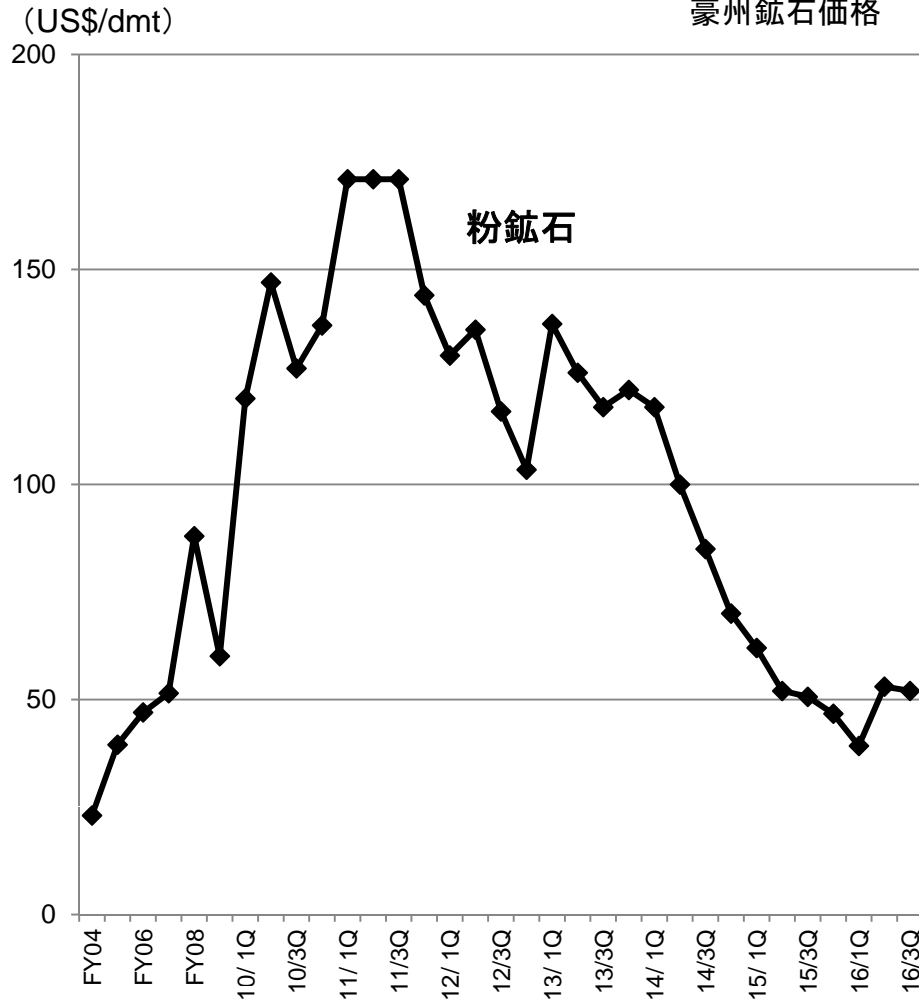
## ときわ会(H形鋼)在庫



# 原料価格推移 <鉄鉱石・原料炭>

**鉄鉱石**

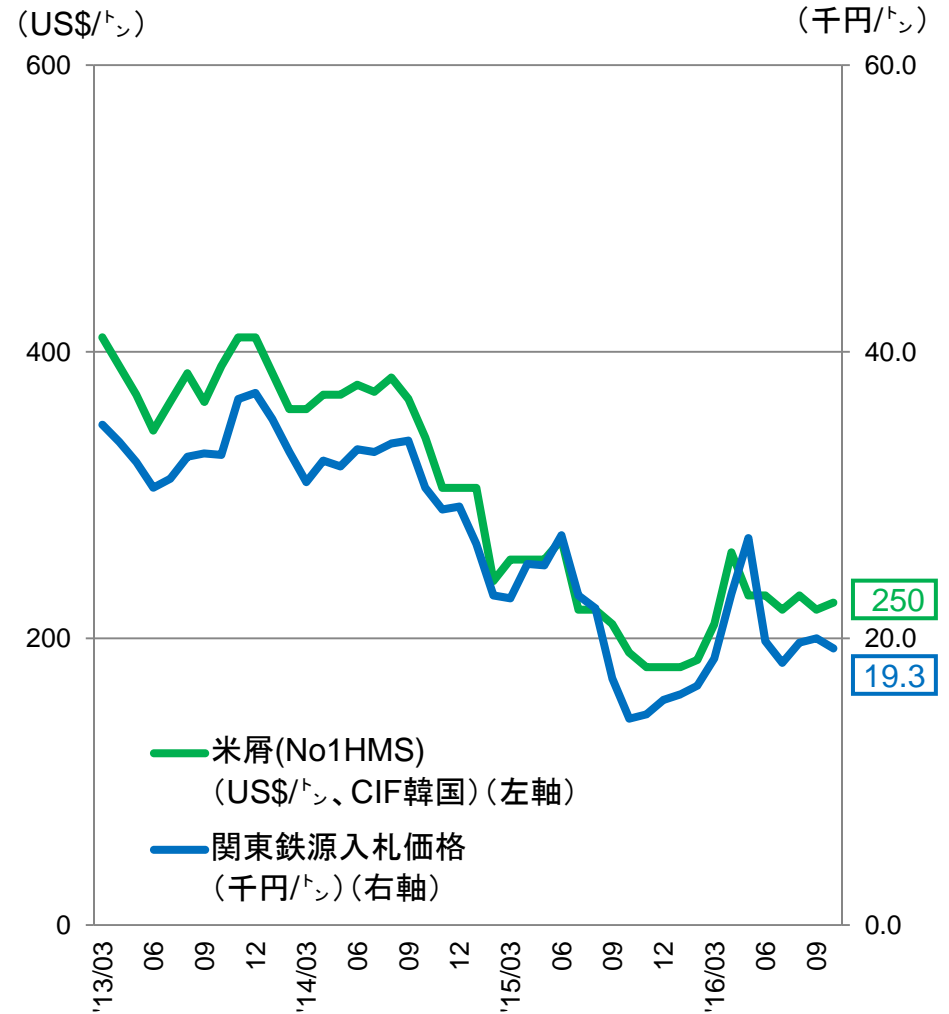
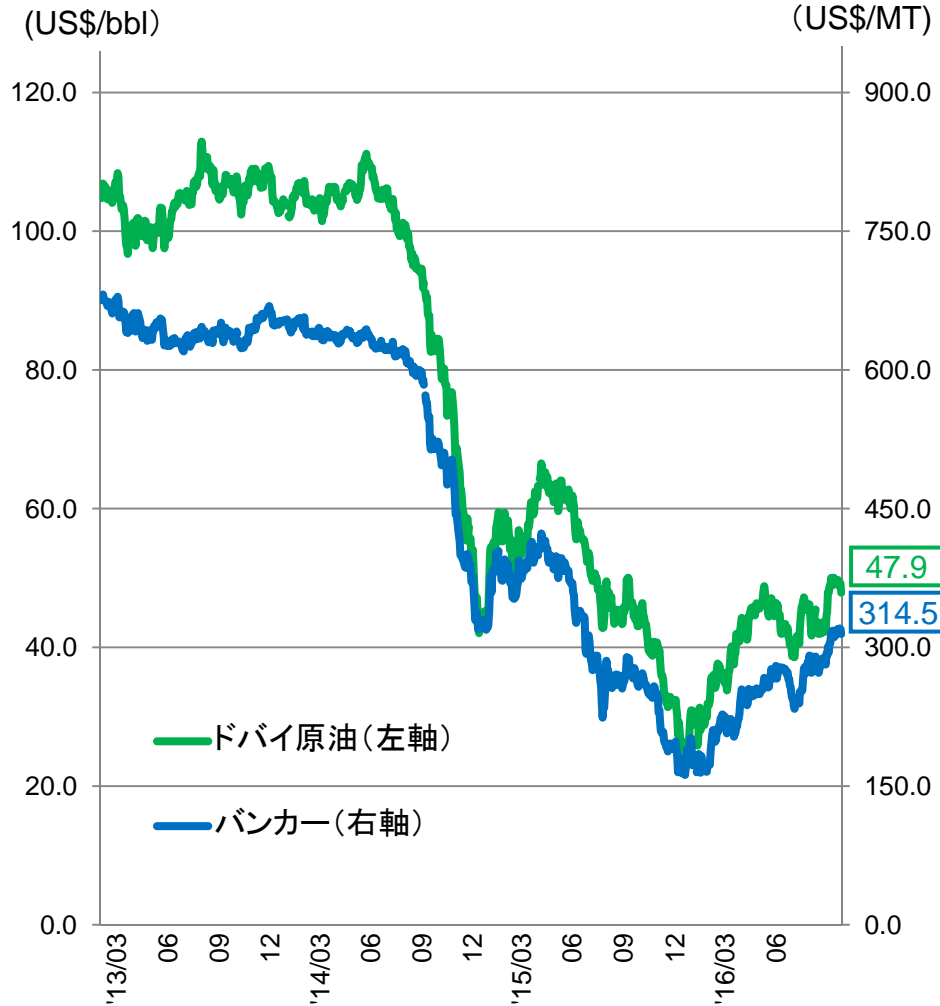
**原料炭**



# 原料市況 <原油・スクラップ>

原油

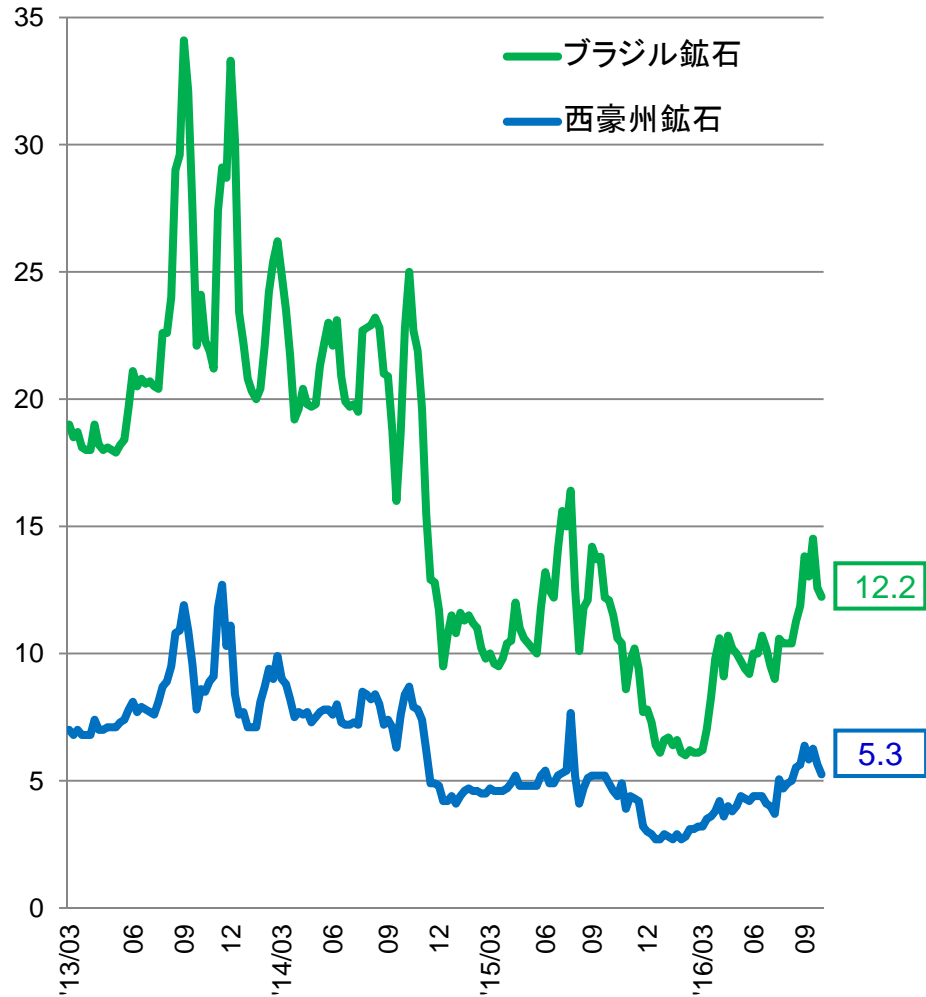
スクラップ



# 原料市況 <フレート・型鉄>

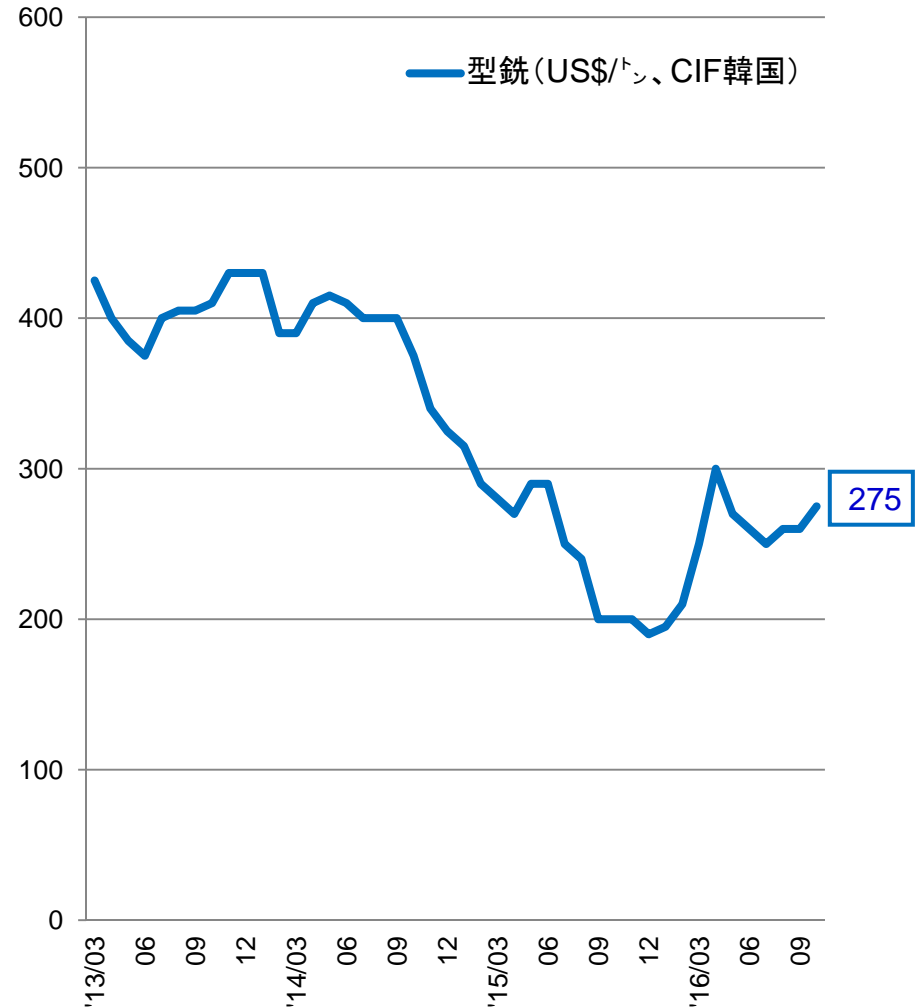
## フレート

(US\$/WMT, ケープサイズ 170千t船型)



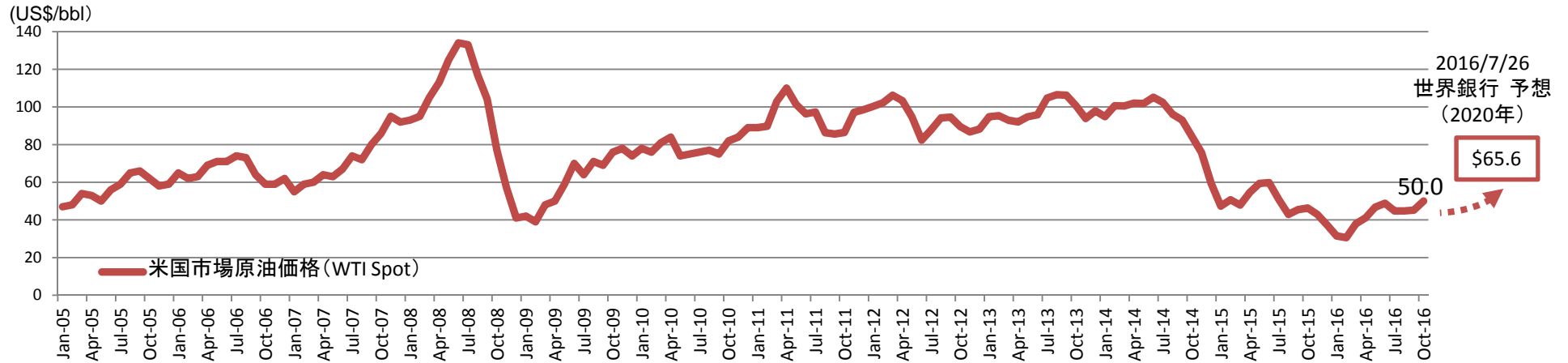
## 型鉄

(US\$/T, CIF 韓国)

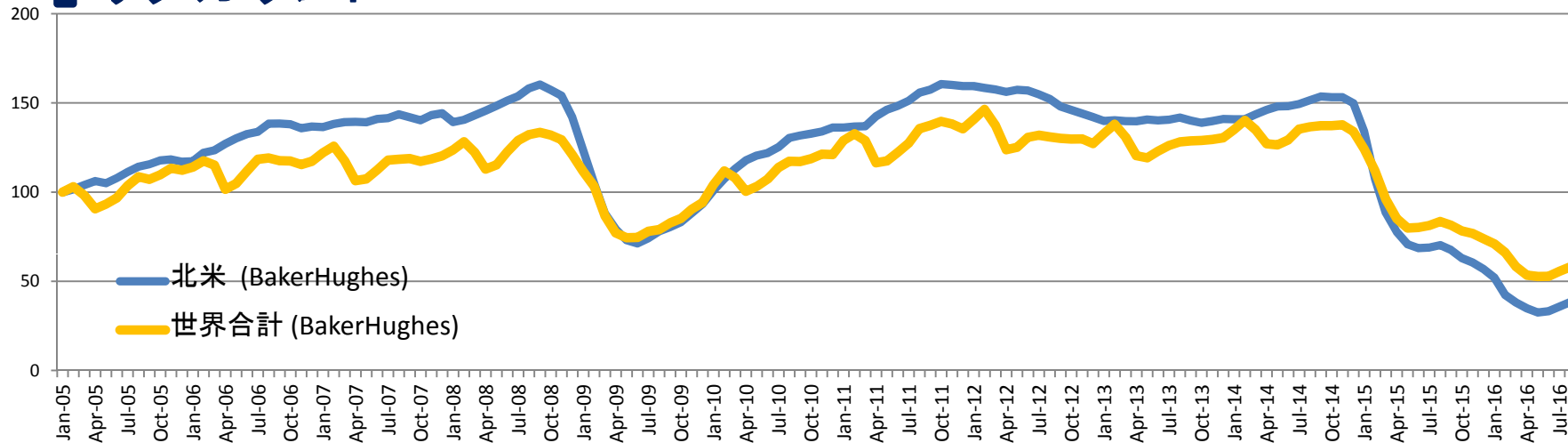


# エネルギー関連指標の推移

## 原油価格

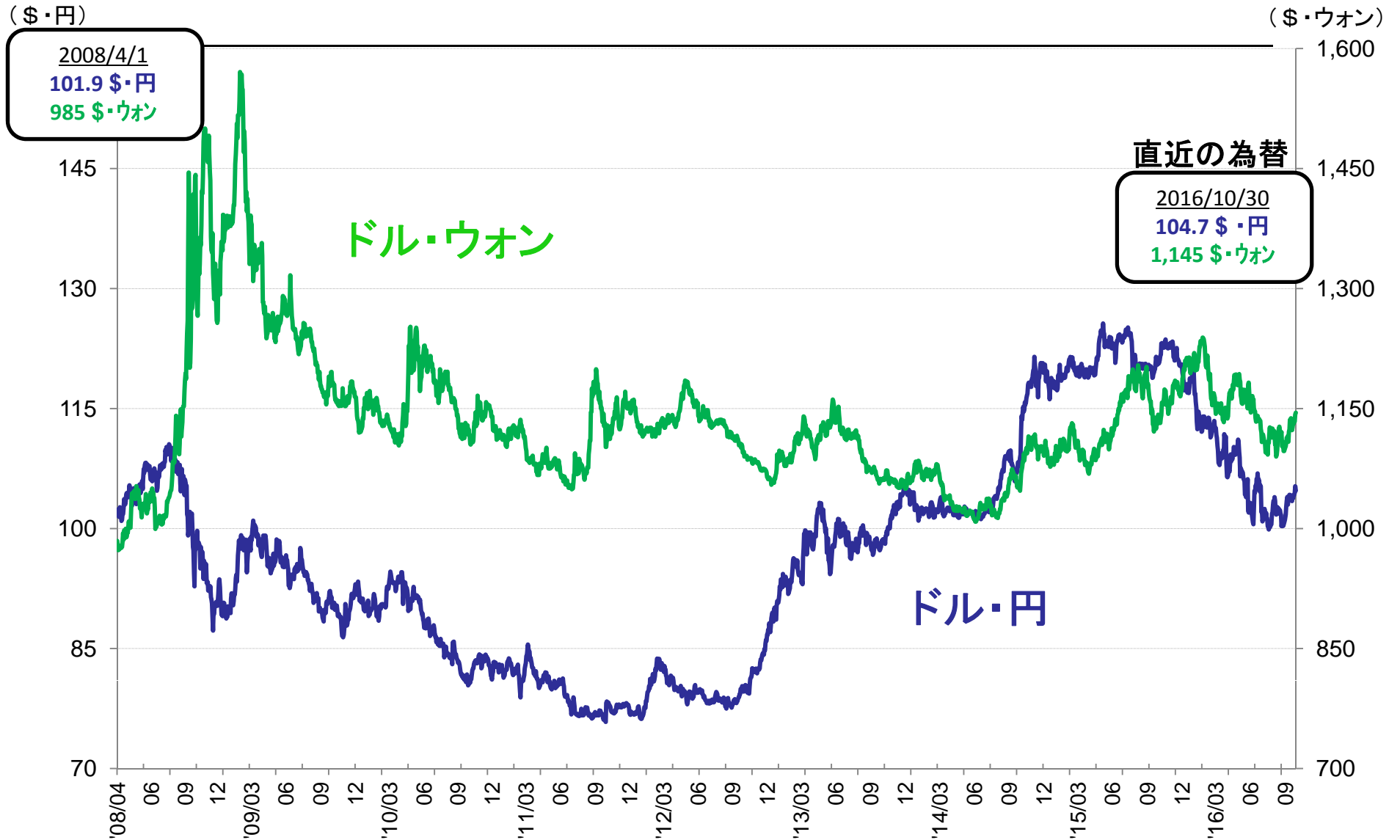


## リグカウント (2005年1月=100)





# 為替推移 (ドル・円, ドル・ウォン)



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。